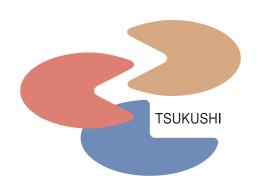
医療法人つくし会 年報 平成 25 年度



南 国 病 院 訪問看護ステーションおおそね

目 次

病院長挨拶	病院長	中澤宏之	•••••		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	1
臨床						
外来部門		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •			3
病棟部門						7
薬剤部	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •			11
医療安全対策	室	• • • • • • • • • • • • • • •		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	12
MRSA検出	患者数の	推移		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	14
検体別検出細	菌数 …					15
褥瘡患者数の	推移 …	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •				16
栄養部	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	20
在宅医療支援 通所リハビ 精神科デイ 訪問看護ス	リテーシ ケア室	/ョン室				23
教 育						
平成 25 年度第	実習受け.	入れ状況				28
平成 25 年度	完内学術 [/]	研修会 …		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	32
第2回開院記	念院内発	表会				34
平成 25 年度際	完内看護	部研修会				35
第3回看護部	チーム発	養会				36
業績						
平成 25 年度美		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	•••••	••••••	37
編集後記						40

病院長挨拶

2014 年はまさに足早に過ぎ去った印象があります。4 月の診療報酬改定後の対応が続く6月には医療介護総合確保推進法が公布されました。医療法関係では全国的に2025 年にピークを迎えると言われる医療需要の急増に向けた地域医療構想の準備開始、介護保険法関係では在宅医療の強化を主とする地域包括ケアシステム構築への取り組みなど民間病院を取り巻く環境が大きく動き始めた年でした。高知県と県内の医療・介護・福祉関連団体は消費税増収分を活用した新たな基金を利用した事業提案の取りまとめに追われた年でもありました。改めて地域医療における民間病院の役割が問われ、ひいては今後の地域における街づくりにいかに医療の面から貢献できるかを考えなくてはなりません。年末には衆議院議員選挙を控えていますが消費税増税の先送りが前提となっており上記医療需要の増加に対する社会保障費の確保に対し大いに不安が残るところです。

当院の平成 25 年度の事業計画として、①常勤医師の早急な確保と充足、②電子カルテ の習熟とシステムの活用、③大災害対策の一層の推進と訓練の実施、④南国病院の病床 の持つ医療機能の明確化と地域医療連携(情報の発信)、⑤院内部門別人材の育成、⑥優 良高齢職員の活用と健康対策を掲げてこの 1 年間取り組んできました。専門性を持つ常 勤医師の充足には至らず少ない医師数での診療継続を余儀なくされ先生方には多大なご 苦労をおかけしました。引き続き医師確保については努力を続けてまいります。電子カ ルテによる診療はほぼ軌道に乗り各部署で業務の効率化が図られていますが、毎月の情 報システム管理委員会において臨床現場で指摘されるシステム上の課題、要望や運用取 決めについて定期的に改善を図り、当初の導入目標であった医療サービス向上、多職種 協働の促進を達成させ、さらに洗練された電子カルテシステムになることを期待してお ります。大災害対策については毎月の防災・防犯委員会の中で平成 26 年度中の事業継続 計画(BCP)の完成を目標に準備を進めてまいりましたが、予定通りの進捗状況であり、 災害拠点病院や救護病院でない当院の BCP が県内の他医療機関にとって多少なりとも参 考になれば幸いと思っております。今後は地域での医療継続計画(DCP)との整合性と 連続性を持った BCP になるよう最終調整を行って参ります。11 月には地域医療構想の策 定に向け各病棟の病床機能報告が一旦終了しました。 当院は 162 床の内 46 床と 56 床の 2 病棟を重症神経疾患(神経難病)の長期療養を受け入れる慢性期機能の病棟として報告 しました。今回の報告制度の対象とならなかった精神一般病床 60 床については急性期の

精神疾患を治療する精神科急性期機能と位置付けています。まだまだ地域では精神科病院のイメージがある当院ですが、専門性の高い神経内科、精神科と地域のかかりつけ医機能や神経内科・精神科疾患の身体管理を担当する内科を持つ地域の専門病院として、広報とブランド化が必要と考えています。また、平成25年4月の高年齢者雇用安定法の改正を受け当院でも就業規則を一部改訂し、60歳以上の高齢者でも安心して働ける職場環境作りに配慮しています。

今年も臨床、教育、地域貢献の各分野において一定の活動が残せたのではないかと思いますが、平成25年度の当院の活動をまとめた年報が完成いたしました。昨年と比べ訪問看護や通所リハビリを含む在宅医療の実績が充実しております。どうぞご笑覧下さい。神経内科・精神科の専門病院として、地域のかかりつけ病院として体制を充実し皆様に選ばれる質の高い医療を目指して職員一同努力してまいりますので、今後とも指導、ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

平成 26 年 11 月 23 日 病院長 中澤 宏之

臨 床

外来部門

1)年間外来患者数の推移

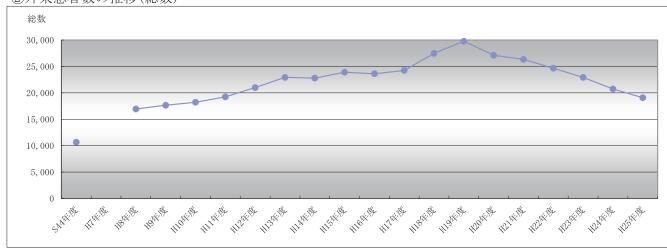
①外来患者総数と新患数(実数)

()内は、	月平均患者数
---	------	--------

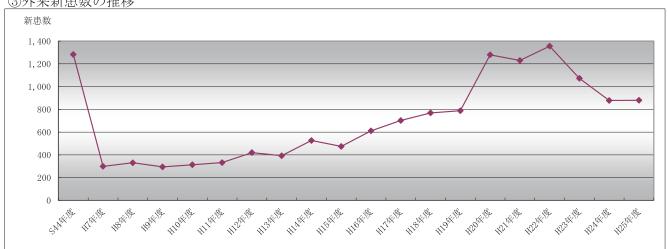
	年度	S44年度	H7年度	H8年度	H9年度	H10年度	H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度
患者数		1969年	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年
	新患数	1, 283	299	330	294	313	332	420	392	526	474
年 間	利忠致	(106.9)	(24.9)	(27.5)	(24.5)	(26.1)	(27.7)	(35.0)	(32.7)	(43.8)	(39.5)
患者数	総数	10,660	不詳	16, 955	17, 659	18, 231	19, 253	21, 004	22, 938	22, 796	23, 915
	下 数	(888. 2)	不詳	(1412.9)	(1471.6)	(1519. 3)	(1604. 4)	(1750. 3)	(1911.5)	(1899. 7)	(1992.9)

	年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
患者数		2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
	新患数	611	702	769	788	1, 280	1, 230	1, 356	1,073	878	880
年 間	利心教	(50.9)	(58.5)	(64.1)	(65.7)	(106.7)	(102.5)	(113.0)	(89.4)	(73.2)	(73.3)
患者数	総数	23, 627	24, 256	27, 488	29, 788	27, 125	26, 341	24, 686	22, 942	20, 747	19, 092
	心 数	(1968. 9)	(2021. 3)	(2290.7)	(2482.3)	(2260.4)	(2195. 1)	(2057. 2)	(1911.8)	(1728. 9)	(1591. 0)

②外来患者数の推移(総数)



③外来新患数の推移



2)疾患別外来患者数(新患)

①疾患別外来患者数(新患)

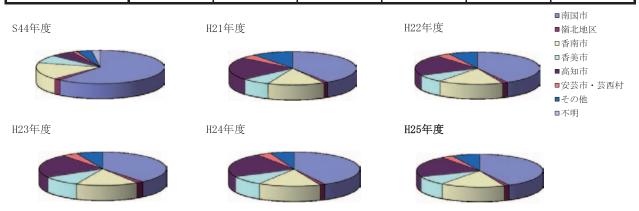
1. 精神障害 38.1 279 35.5% 31.8% 3 1. 器質性精神障害 83 70 17 アルツハイマー利。アルツハイマー型認知症 64 47 2) 2 企の他の認知症 16 21 3) その他 3 2 2 条権神障事 1 5 5 17 アニール依存 0 3 2 2 2 8 2 3 11 2 2 3 3 2 3 11 2 2 3 3 3 3 3 3 3	傷 病 名	H23年度 2011年	H24年度 2012年	H25年度 2013年
1. 精理性精神障害 35. 5% 31. 8% 35 70 1 70 1 70 1 70 1 70 1 70 1 70 1 70				298
1. 器質性精神障害 83 70 1) アルツハイマー病、アルツハイマー型認知症 164 47 2) その他の設知症 166 21 3) その他 21 3) その他 21 1 5 5 1 1 アルツハイマー病、アルツハイマー型認知症 166 21 3) その他 2 2 精神作用物質による精神障害 1 1 5 5 1 1 1 1 2 1 3 3 5 2 2 3 3 5 2 2 2 5 2 5 2 3 1 1 2 2 3 3 5 2 3 5 2 5 2 5 2 5 2 5 2 5 3 3 5 2 5 5 5 5				33.9%
2)その他の認知症			1	94
3 その他 2. 精神作用物質による精神障害 1 5 5 1)アルコール依存 0 3 3 2)その他 1 2 3. 統合失調症及び妄想性障害 37 15 1)総合失調症 2)その他 14 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	イマー病、アルツハイマー型認知症	64	47	72
2. 精神作用物質による精神障害 1 5 1 7 2 2 3 3. 統合失調症及び妄想性障害 37 15 1 1 2 2 3 3. 統合失調症及び妄想性障害 37 15 1 1 2 2 2 3 11 2 2 2 の 他 14 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	認知症	16	21	13
1)アルコール依存 2)その他 2)その他 1 2 3, 統合失調症及び妄想性障害 37 15 1)統合失調症 23 11 2)その他 4 気分障害 103 66 1)喋うつ病 2) 9 9 2) うっ病エピソード 3) その他 5, 神経症性障害、ストレス関連障害 98 76 1)不安神経症 20 13 20) 2 3 10 5, 神経症性障害、ストレス関連障害 98 76 1)不安神経症 26 13 20) 2 ステリー 0 0 0 3) 心因反応 8 11 4)その他 64 52 6.その他 59 47 11. 神経・筋疾患 206 125 19.2% 14.2% 1.2% 1.2% 1.2% 1.2% 1.2% 1.2% 1.2% 1			II.	9
2)その他 37 15 11 2 3				4
3. 統合失調症及び妄想性障害 23 11 2)その他 14 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	ル依存	-		3
1)統合失調症 23 11 2)その他 14 4 4 4 4 4 4 4 4	78亡相从陈宁	_		1
14 4 4 4 5 5 6 103 66 11 103 66 11 103 66 11 103 66 11 103 66 11 103 66 11 103 66 11 103 66 11 103 10 103 10 10 10				9
4. 気分障害 103 66 1) 跳うつ病 9 9 9 1 103 105 105 105 105 105 105 105 105 105 105	加			5
1) 躁うつ病 2) うつ病エピソード 21 47 47 3) その他 73 10 10 10 10 10 10 10 10				69
2) うつ病エピソード 3) その他 773 10 10 5. 神経症性障害、ストレス関連障害 98 76 11 不安神経症 26 13 2) ヒステリー 0 0 0 0 3) 心因反応 8 11 4) その他 64 52 6. その他 59 47 11. 神経・筋疾患 206 125 19. 2% 14				5
3)その他				60
5. 神経症性障害、ストレス関連障害 98 76 1) 不安神経症 26 13 2) ヒステリー 0 0 3) 心因反応 8 11 4)その他 64 52 6. その他 59 47 II. 神経・筋疾患 19.2% 14.2% 1. てんかん 22 8 2. 頭痛 (偏頭痛など) 18 5 3. 神経難病 (パーキンソン病など) 77 59 4. その他 89 53 II. 心・血管疾患 29 25 2. で、末梢血管疾患 28 21 2. 心・末梢血管疾患 1 2 3. その他、機能障害 0 2 IV. 消化器内科疾患 247 246 2 2. 下部消化管疾患 (食道炎・胃炎・胃潰瘍・十二指腸潰瘍など) 39 13 2. 下部消化管疾患 (肝臓療・肝炎など) 1 1 4. 胆膵疾患 (肝臓療・肝炎など) 0 0 5. 高血圧 10 9 6. 糖尿病 1 3 7. 脂質異常症 1 3 8. 外科的疾患 (腰痛症・循環器疾患・代謝異常 116 115 10. その他 16 44				4
1)不安神経症 26 13 2)ヒステリー 0 0 0 3)心因反応 8 11 4)その他 64 52 59 47 1. 神経・筋疾患 206 125 19.2% 14.2% 1. てんかん 22 8 2. 頭痛(偏頭痛など) 18 5 3. 神経難病(ペーキンソン病など) 77 59 4. その他 89 53 11. 心・血管疾患 29 25 2. 7% 2. 8% 1 2 2. 心・末梢血管疾患 28 21 2 2. 心・末梢血管疾患 247 246 23. 0% 28. 0% 25. 下部消化管疾患 (食道炎・胃炎・胃潰瘍・十二指腸潰瘍など) 39 13 2. 下部消化管疾患 (大腸ポリープ・大腸癌・痔核など) 1 1 1 1 1 1 1 1 1	、ストレス関連障害		76	86
3) 心因反応 8 11 4) その他 64 52 6. その他 59 47 II. 神経・筋疾患 19.2% 14.2% 1. てんかん 22 8 2. 頭痛 (偏頭痛など) 18 5 3. 神経難病(パーキンソン病など) 77 59 4. その他 89 53 II. 心・血管疾患 29 25 2. 心・末梢血管疾患 2 2 2. 心・末梢血管疾患 1 2 3. その他、機能障害 0 2 IV. 消化器内科疾患 247 246 2 2. 下部消化管疾患(食道炎・胃炎・胃潰瘍・十二指腸潰瘍など) 39 13 2. 下部消化管疾患(食道炎・胃炎・胃潰瘍・キ病核など) 19 8 3. 肝臓疾患(肝臓癌・肝炎など) 1 1 4. 胆膵疾患(胆のう炎・胆石症・膵炎など) 0 0 5. 高血圧 10 9 6. 糖尿病 1 5 7. 脂質異常症 1 5 7. 脂質異常症 1 1 8. 外科的疾患 (腰痛症・頚肩腕症候群・外傷・褥瘡など) 44 48 9. 呼吸器疾患・循環器疾患・代謝異常 116 115 10. その他 16 44 <td></td> <td>26</td> <td>13</td> <td>35</td>		26	13	35
4)その他 52 59 47 11. 神経・筋疾患 206 125 14. 2% 1. でんかん 22 8 2. 頭痛 (偏頭痛など) 18 5 3. 神経難病(パーキンソン病など) 77 59 4. その他 89 53 11. 心・血管疾患 29 25 2. で、大け血管疾患 1 2 3. その他、機能障害 0 2 2 2 8 21 2. 心・末梢血管疾患 1 2 2 3. その他、機能障害 0 2 2 1 2 2 4 7 2 4 6 2 3 3. 下部消化管疾患 (食道炎・胃炎・胃潰瘍・十二指腸潰瘍など) 39 13 2 2 下部消化管疾患 (大腸ボリーブ・大腸癌・痔核など) 19 8 3. 肝臓疾患 (肝臓癌・肝炎など) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		0	0	0
6.その他 59 47 II. 神経・筋疾患 206 125 19.2% 14.2% 14.2% 14.2% 14.2% 14.2% 14.2% 14.2% 14.2% 14.2% 14.2% 14.2% 14.2% 15.2% 14.2% 15.2% 14.2% 15.2% 14.2% 15.2% 14.2% 18.2% 18.5 22 8 2. 頭痛(偏頭痛など) 77 59 3. 神経難病(パーキンソン病など) 89 53 III. 心・血管疾患 29 25 2.7% 2.8% 1 2. 心・末梢血管疾患 28 21 2. 心・末梢血管疾患 1 2 3.2% 247 246 23.0% 28.0% 25 2. 下部消化管疾患(食道炎・胃炎・胃溃瘍・十二指腸潰瘍など) 39 13 2. 下部消化管疾患(大腸ポリープ・大腸癌・痔核など) 19 8 3. 肝臓疾患(肝臓癌・肝炎など) 19 8 3. 肝臓疾患(肝臓癌・肝炎など) 1 1 1 4. 胆膵疾患(胆のう炎・胆石症・膵炎など) 0 0 0 5. 高血圧 10 9 15. 高血圧 10 9 6. 糖尿病 1 5 1 5 7. 脂質異常症 1 3 1 3 8. 外科的疾患(腰痛症・頚肩腕症候群・外傷・褥瘡など) 44 48 9. 呼吸器疾患・循環器疾患・代謝異常 116 115 10. その他 16 44		8	11	6
II. 神経・筋疾患		64	52	45
19.2% 14.2% 14.2% 14.2% 1. てんかん 22 8 2. 頭痛 (偏頭痛など) 18 5 3. 神経難病 (パーキンソン病など) 77 59 4. その他 89 53 III. 心・血管疾患 29 25 2. 7% 2. 8% 1 1. 脳血管疾患 28 21 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			47	31
1. てんかん 2. 頭痛 (偏頭痛など) 3. 神経難病 (パーキンソン病など) 4. その他 89 53 III. 心・血管疾患 29 25 2. 7% 2. 8% 1 1. 脳血管疾患 28 21 2. 心・末梢血管疾患 3. その他、機能障害 0 2 247 246 2 3. その他、機能障害 0 2 1. 上部消化管疾患(食道炎・胃炎・胃潰瘍・十二指腸潰瘍など) 3. 肝臓疾患(肝臓癌・肝炎など) 4. 胆膵疾患(胆のう炎・胆石症・膵炎など) 5. 高血圧 6. 糖尿病 7. 脂質異常症 8. 外科的疾患(腰痛症・頚肩腕症候群・外傷・褥瘡など) 44 48 9. 呼吸器疾患・循環器疾患・代謝異常 116 115 10.その他				130
2. 頭痛(偏頭痛など) 18 5 3. 神経難病(パーキンソン病など) 77 59 4. その他 89 53 III. 心・血管疾患 29 25 2. 7% 2. 8% 1 1. 脳血管疾患 28 21 2. 心・末梢血管疾患 1 2 3. その他、機能障害 0 2 IV. 消化器内科疾患 247 246 2 2. 下部消化管疾患(食道炎・胃炎・胃潰瘍・十二指腸潰瘍など) 39 13 2. 下部消化管疾患(大腸ポリープ・大腸癌・痔核など) 19 8 3. 肝臓疾患(肝臓癌・肝炎など) 1 1 4. 胆膵疾患(胆のう炎・胆石症・膵炎など) 0 0 5. 高血圧 10 9 6. 糖尿病 1 5 7. 脂質異常症 1 3 8. 外科的疾患(腰痛症・頚肩腕症候群・外傷・褥瘡など) 44 48 9. 呼吸器疾患・循環器疾患・代謝異常 116 115 10. その他 16 44			14. 2%	14.8%
3. 神経難病(パーキンソン病など) 77 59 4. その他 89 53 1 29 25 2. 7% 2. 8% 1 1. 脳血管疾患 28 21 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				11
1. 脳血管疾患 29 25 2. 7% 2. 8% 1 1. 脳血管疾患 28 21 2 25 2. 7% 2. 8% 1 2 25 2. 7% 2. 8% 1 2 25 2. 7% 2. 8% 1 2 25 2. 7% 2. 8% 1 2 2 2. 心・末梢血管疾患 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2				17
III. 心・血管疾患 29 25 2.8% 1 1. 脳血管疾患 28 21 2 2. 心・末梢血管疾患 1 2 2 3. その他、機能障害 0 2 IV. 消化器内科疾患 247 246 2 23. 0% 28. 0% 2 1. 上部消化管疾患(食道炎・胃炎・胃潰瘍・十二指腸潰瘍など) 39 13 2. 下部消化管疾患(大腸ポリープ・大腸癌・痔核など) 19 8 3. 肝臓疾患(肝臓癌・肝炎など) 1 1 4. 胆膵疾患(胆のう炎・胆石症・膵炎など) 0 0 5. 高血圧 10 9 6. 糖尿病 1 5 7. 脂質異常症 1 3 8. 外科的疾患(腰痛症・頚肩腕症候群・外傷・褥瘡など) 44 48 9. 呼吸器疾患・循環器疾患・代謝異常 116 115 10. その他 16 44	ーキンソン病など)			47
1. 脳血管疾患 2. 7% 2. 8% 1 2. 心・末梢血管疾患 1 2 3. その他、機能障害 0 2 IV. 消化器内科疾患 247 246 23. 0% 28. 0% 2 1. 上部消化管疾患(食道炎・胃炎・胃潰瘍・十二指腸潰瘍など) 39 13 2. 下部消化管疾患(大腸ポリープ・大腸癌・痔核など) 19 8 3. 肝臓疾患(肝臓癌・肝炎など) 1 1 4. 胆膵疾患(胆のう炎・胆石症・膵炎など) 0 0 5. 高血圧 10 9 6. 糖尿病 1 5 7. 脂質異常症 1 3 8. 外科的疾患(腰痛症・頚肩腕症候群・外傷・褥瘡など) 44 48 9. 呼吸器疾患・循環器疾患・代謝異常 116 115 10. その他 16 44				55
1. 脳血管疾患 28 21 2. 心・末梢血管疾患 1 2 3. その他、機能障害 0 2 IV. 消化器内科疾患 247 246 2 23. 0% 28. 0% 2 1. 上部消化管疾患(食道炎・胃炎・胃潰瘍・十二指腸潰瘍など) 39 13 2. 下部消化管疾患(大腸ポリープ・大腸癌・痔核など) 19 8 3. 肝臓疾患(肝臓癌・肝炎など) 1 1 4. 胆膵疾患(胆のう炎・胆石症・膵炎など) 0 0 5. 高血圧 10 9 6. 糖尿病 1 5 7. 脂質異常症 1 3 8. 外科的疾患(腰痛症・頚肩腕症候群・外傷・褥瘡など) 44 48 9. 呼吸器疾患・循環器疾患・代謝異常 116 115 10. その他 16 44				15 1. 7%
3. その他、機能障害 0 2 IV. 消化器内科疾患 247 246 2 1. 上部消化管疾患(食道炎・胃炎・胃潰瘍・十二指腸潰瘍など) 39 13 2. 下部消化管疾患(大腸ポリープ・大腸癌・痔核など) 19 8 3. 肝臓疾患(肝臓癌・肝炎など) 1 1 4. 胆膵疾患(胆のう炎・胆石症・膵炎など) 0 0 5. 高血圧 10 9 6. 糖尿病 1 5 7. 脂質異常症 1 3 8. 外科的疾患(腰痛症・頚肩腕症候群・外傷・褥瘡など) 44 48 9. 呼吸器疾患・循環器疾患・代謝異常 116 115 10.その他 16 44			1	12
IV. 消化器内科疾患247 23.0%246 28.0%21. 上部消化管疾患(食道炎・胃炎・胃潰瘍・十二指腸潰瘍など)39132. 下部消化管疾患(大腸ポリープ・大腸癌・痔核など)1983. 肝臓疾患(肝臓癌・肝炎など)114. 胆膵疾患(胆のう炎・胆石症・膵炎など)005. 高血圧1096. 糖尿病157. 脂質異常症138. 外科的疾患(腰痛症・頚肩腕症候群・外傷・褥瘡など)44489. 呼吸器疾患・循環器疾患・代謝異常11611510.その他1644		1	2	2
IV. ᆌ化器内科疾患 23.0% 28.0% 25 1. 上部消化管疾患(食道炎・胃炎・胃潰瘍・十二指腸潰瘍など) 39 13 2. 下部消化管疾患(大腸ポリープ・大腸癌・痔核など) 19 8 3. 肝臓疾患(肝臓癌・肝炎など) 1 1 4. 胆膵疾患(胆のう炎・胆石症・膵炎など) 0 0 5. 高血圧 10 9 6. 糖尿病 1 5 7. 脂質異常症 1 3 8. 外科的疾患(腰痛症・頚肩腕症候群・外傷・褥瘡など) 44 48 9. 呼吸器疾患・循環器疾患・代謝異常 116 115 10.その他 16 44	障害	0	2	1
1. 上部消化管疾患(食道炎・胃炎・胃潰瘍・十二指腸潰瘍など) 39 13 2. 下部消化管疾患(大腸ポリープ・大腸癌・痔核など) 19 8 3. 肝臓疾患(肝臓癌・肝炎など) 1 1 4. 胆膵疾患(胆のう炎・胆石症・膵炎など) 0 0 5. 高血圧 10 9 6. 糖尿病 1 5 7. 脂質異常症 1 3 8. 外科的疾患(腰痛症・頚肩腕症候群・外傷・褥瘡など) 44 48 9. 呼吸器疾患・循環器疾患・代謝異常 116 115 10.その他 16 44				208 23.6%
3. 肝臓疾患(肝臓癌・肝炎など) 1 1 4. 胆膵疾患(胆のう炎・胆石症・膵炎など) 0 0 5. 高血圧 10 9 6. 糖尿病 1 5 7. 脂質異常症 1 3 8. 外科的疾患(腰痛症・頚肩腕症候群・外傷・褥瘡など) 44 48 9. 呼吸器疾患・循環器疾患・代謝異常 116 115 10.その他 16 44			1	15
4. 胆膵疾患(胆のう炎・胆石症・膵炎など) 0 0 5. 高血圧 10 9 6. 糖尿病 1 5 7. 脂質異常症 1 3 8. 外科的疾患(腰痛症・頚肩腕症候群・外傷・褥瘡など) 44 48 9. 呼吸器疾患・循環器疾患・代謝異常 116 115 10.その他 16 44	患(大腸ポリープ・大腸癌・痔核など)	19	8	7
5. 高血圧 10 9 6. 糖尿病 1 5 7. 脂質異常症 1 3 8. 外科的疾患(腰痛症・頚肩腕症候群・外傷・褥瘡など) 44 48 9. 呼吸器疾患・循環器疾患・代謝異常 116 115 10.その他 16 44	臓癌・肝炎など)	1	1	1
6. 糖尿病157. 脂質異常症138. 外科的疾患(腰痛症・頚肩腕症候群・外傷・褥瘡など)44489. 呼吸器疾患・循環器疾患・代謝異常11611510.その他1644	のう炎・胆石症・膵炎など)	0	0	0
7. 脂質異常症 1 3 8. 外科的疾患(腰痛症・頚肩腕症候群・外傷・褥瘡など) 44 48 9. 呼吸器疾患・循環器疾患・代謝異常 116 115 10.その他 16 44		10	!	12
8. 外科的疾患(腰痛症・頚肩腕症候群・外傷・褥瘡など) 44 48 9. 呼吸器疾患・循環器疾患・代謝異常 116 115 10.その他 16 44				1
9. 呼吸器疾患・循環器疾患・代謝異常 116 115 10.その他 16 44	(Bar who who was to be the late of the lat		<u> </u>	1
10.その他 16 44				33
	循環番矢思・代謝異常		<u> </u>	97
		33	44	41 31
				3. 5%
V 予防機構		-		10 1. 1%
VII AA 杏依頼 (他院上的) 0 0	より)	0	0	19
VIII 健診 166 152 1		166	152	2. 2%
15.5% 17.3% 18				18.9%
0 0				0.3%
X カルテ不明		·	Ĭ	
合計 1,073 878 8		0.0%	0.0%	0.0%

②診療科·疾患群別外来患者数(新患)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
診療科・疾患群	(2011年)	(2012年)	(2013年)
精 神 科			
統合失調症	29	11	9
躁うつ病	9	9	5
てんかんと近縁疾患	2	4	4
非定型精神病	0	0	1
神経症(心因反応)、うつ病、うつ状態	176	123	146
アルコール関連精神障害	0	3	3
認知症、脳器質性精神障害	23	24	22
知的障害	30	15	13
その他	56	39	25
小計	325	228	228
神経内科			
脳血管障害	37	17	11
筋萎縮性側索硬化症	6	11	9
パーキンソン病関連疾患	35	28	25
多系統萎縮症	8	4	2
脊髄小脳変性症	6	7	6
その他の神経変性疾患	4	2	3
アルツハイマー病	54	37	64
血管性認知症	3	10	5
その他の認知症	9	4	3
免疫関連中枢神経疾患	10	2	1
末梢神経疾患	13	6	2
筋疾患	16	7	5
神経感染症、脳症	0	0	0
てんかん	20	4	7
中毒性神経疾患	0	0	0
内科疾患、代謝性疾患に伴う神経障害	9	16	12
その他	93	78	95
小計	323	233	250
消化器内科			
上部消化管疾患(食道・胃炎・胃潰瘍・十二指腸潰瘍など	<u>(</u>) 40	13	15
下部消化管疾患 (大腸ポリープ・大腸癌・痔核など)	19	8	7
肝臓疾患(肝臓癌・胆石症・膵炎など)	1	1	2
高血圧	10	7	8
糖尿病	1	4	1
脂質異常症	2	3	1
外科的疾患(腰痛症・頚肩腕症候群・外傷・褥瘡など)	40	43	33
呼吸器疾患・循環器疾患・代謝異常	103	112	98
その他	209	226	237
小計	425	417	402
合計	1,073	878	880

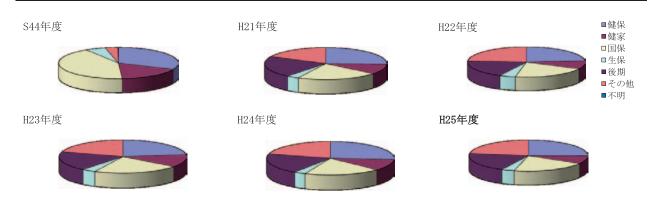
3)居住地別外来患者数(新患)の比較

居住地	S44年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
	1969年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
南国市	780	501	569	420	371	372
	60, 8%	40. 7%	42.0%	39. 1%	42. 3%	42. 3%
嶺北地区	22	13	19	19	11	12
	1. 7%	1, 1%	1, 4%	1.8%	1.3%	1. 4%
香南市	214	179	229	170	135	145
	16. 7%	14.6%	16, 9%	15, 8%	15, 4%	16, 5%
香美市	99	89	102	105	77	78
	7. 7%	7. 2%	7.5%	9.8%	8,8%	8, 9%
高知市	76	272	284	245	201	184
	5. 9%	22. 1%	20. 9%	22. 8%	22. 9%	20. 9%
安芸市・芸西村	16	48	51	42	31	26
	1. 2%	3. 9%	3.8%	3. 9%	3. 5%	3. 0%
その他	48	128	102	72	52	63
	3. 7%	10. 4%	7.5%	6. 7%	5. 9%	7. 2%
不明	28 2.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0.0%
合計	1, 283	1, 230	1, 356	1,073	878	880



4)保険種別外来患者数(新患)の比較

保 険	S44年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
	1969年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
健保(含、共済)	406	314	322	248	230	221
医床(百、共頃)	31.6%	25. 5%	23. 7%	23.1%	26. 2%	25. 1%
健家	222	127	118	131	95	74
是 条	17.3%	10.3%	8. 7%	12.2%	10.8%	8.4%
国保	539	265	279	235	171	179
国	42.0%	21.5%	20.6%	21.9%	19.5%	20.3%
生保	71	41	60	38	26	31
土体	5.5%	3.3%	4.4%	3.5%	3.0%	3.5%
後期		265	250	203	173	173
[及为]		21.5%	18.4%	18.9%	19.7%	19.7%
その他	43	218	327	218	183	202
C 07 E	3.4%	17.7%	24.1%	20.3%	20.8%	23.0%
不明	2	0	0	0	0	0
∠ \₽7]	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	1, 283	1,230	1, 356	1,073	878	880

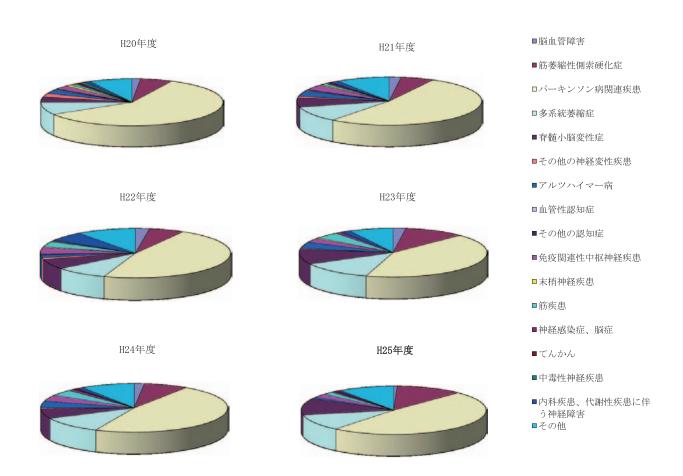


病棟部門

1) 特殊疾患病棟・医療療養病棟(2・3 病棟) での比較

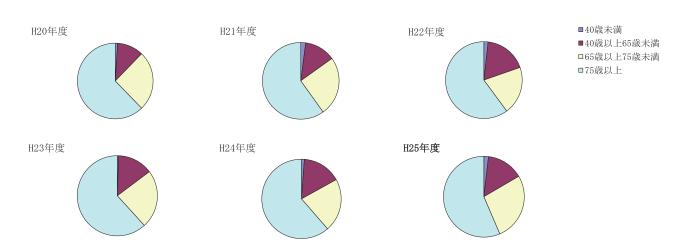
①疾患群別患者数

左 电 形	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
疾 患 群	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
脳血管障害	3	4	4	4	3	1
筋萎縮性側索硬化症	11	11	10	19	13	19
パーキンソン病関連疾患	116	101	79	77	81	79
多系統萎縮症	17	20	15	23	19	18
脊髄小脳変性症	7	12	11	18	11	18
その他の神経変性疾患	5	2	2	1	1	0
アルツハイマー病	5	7	3	8	8	2
血管性認知症	1	1	0	0	0	0
その他の認知症	1	1	1	0	0	0
免疫関連性中枢神経疾患	5	7	7	5	7	4
末梢神経疾患	2	1	1	1	0	0
筋疾患	2	2	6	8	7	3
神経感染症、脳症	1	1	1	2	2	1
てんかん	1	1	0	0	1	1
中毒性神経疾患	2	0	1	0	0	0
内科疾患、代謝性疾患に伴う神経障害	2	3	10	3	2	1
その他	15	18	17	14	16	16
合計	196	192	168	183	171	163



②年齢階層別患者数

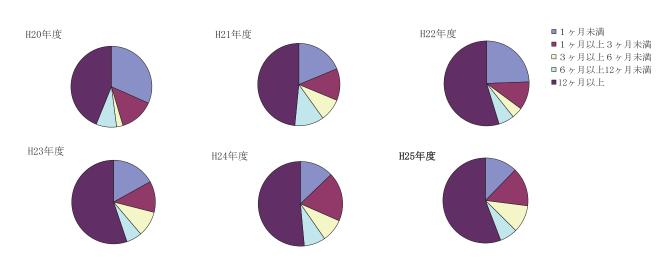
O 1 PH P P P P P P P P P P P P P P P P P						
年 齢	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
十	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
40歳未満	2	4	3	1	2	3
40歳以上65歳未満	22	25	30	26	27	24
65歳以上75歳未満	50	48	34	43	37	44
75歳以上	122	115	101	113	105	92
合計	196	192	168	183	171	163



③在院期間別患者数

○ ITI20201H1721VP D 3V						
在院期間	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
1年 元 朔 间	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
1ヶ月未満	62	36	41	31	22	20
1ヶ月以上3ヶ月未満	27	24	18	22	32	24
3ヶ月以上6ヶ月未満	5	17	7	18	15	17
6ヶ月以上12ヶ月未満	16	22	10	11	14	11
12ヶ月以上	86	93	92	101	88	91
合計	196	192	168	183	171	163

注: 全102床、3月31日現在数



2)精神科病棟(5病棟)での比較

①疾患群別患者数

疾 患 群	H20年度 2008年	H21年度 2009年	H22年度 2010年	H23年度 2011年	H24年度 2012年	H25年度 2013年
統合失調症	66	54	50	53	55	64
躁うつ病	6	7	4	6	8	10
てんかんと近縁疾患	0	1	1	1	0	0
非定型精神病	4	4	6	2	3	4
神経症(心因反応)、うつ病、うつ状態	46	31	27	26	15	12
アルコール関連精神障害	1	0	0	0	0	1
認知症、脳器質性精神障害	18	17	9	7	14	16
知的障害	1	2	0	2	3	0
その他	10	7	3	6	1	12
合計	152	123	100	103	99	119

注:全60床

②年齢階層別患者数

②十四四百万1心1 数						
年 齢	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
十 图P	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
40歳未満	22	12	7	13	8	6
40 / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	(7.15)	(1.11)	(6.1)	(4.9)	(3.5)	(4.2)
40歳以上65歳未満	53	56	54	50	48	41
サロがた人工-0.3が文/へ1回	$(25 \cdot 28)$	(23.33)	$(30 \cdot 24)$	$(27 \cdot 23)$	$(21 \cdot 27)$	$(20 \cdot 21)$
65歳以上75歳未満	40	32	22	23	21	41
00000000000000000000000000000000000000	(9.31)	(9.23)	(18.4)	(5.18)	(10.11)	(12.29)
75歳以上	37	23	17	17	22	31
170 成 丛 上	$(12 \cdot 25)$	(4.19)	(16.1)	(5.12)	(5.17)	$(14 \cdot 17)$
습計	152	123	100	103	99	119
	(53•99)	(37.86)	$(70 \cdot 30)$	(41·62)	(39.60)	(50.69)

()内は、男・女の数

③在院期間別患者数

在院期間	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
1ヶ月未満	46	29	10	14	14	14
1 夕 乃 不 個	(39.7)	(26.3)	(8.2)	(11.3)	(8.6)	(7.7)
1ヶ月以上3ヶ月未満	33	25	14	18	12	24
1 7 月 以上 3 7 月 不 個	(24.9)	(19.6)	(11.3)	(16.2)	(8.4)	(17.7)
3ヶ月以上6ヶ月未満	21	17	14	13	8	15
3 7 月 以工 0 7 月 不個	(9.12)	(11.6)	(5.9)	(10.3)	(6.2)	(8.7)
6ヶ月以上1年未満	11	10	11	11	15	12
0 7 月 以上 1 中水阀	(6.5)	(8.2)	(7.4)	(9.2)	(7.8)	(2.10)
1年以上3年未満	9	15	14	11	16	22
1 牛丛上 3 牛木個	(3.6)	(7.8)	(7.7)	(4.7)	(8.8)	(16.6)
3年以上	32	27	37	36	34	32
3 牛丛工	(14.18)	(12 • 15)	$(17 \cdot 20)$	(19.17)	(13.21)	(13·19)
合計	152	123	100	103	99	119
[] p]	$(95 \cdot 57)$	(83 • 40)	$(55 \cdot 45)$	$(69 \cdot 34)$	$(50 \cdot 49)$	(63.56)

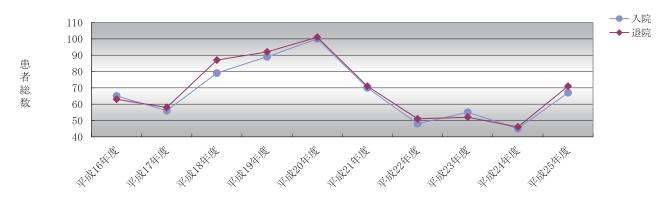
)内は、任意・医療保護別、患者数

3)精神科病棟(5病棟)入退院患者数の推移

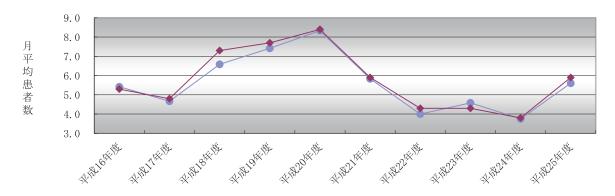
①月別

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数	月平均
平成16年度	7	6	8	6	2	6	5	5	5	3	5	7	65	5. 4
(2004年)	(6)	(8)	(8)	(3)	(5)	(7)	(4)	(5)	(7)	(5)	(1)	(4)	(63)	(5.3)
平成17年度	2	5	5	5	5	6	4	3	4	3	6	8	56	4.7
(2005年)	(3)	(6)	(3)	(8)	(4)	(6)	(4)	(4)	(2)	(5)	(5)	(8)	(58)	(4.8)
平成18年度	7	8	7	10	5	6	3	3	10	7	6	7	79	6.6
(2006年)	(10)	(4)	(7)	(9)	(7)	(6)	(8)	(5)	(6)	(8)	(9)	(8)	(87)	(7.3)
平成19年度	4	8	12	10	2	13	6	7	6	8	7	6	89	7.4
(2007年)	(9)	(7)	(9)	(10)	(10)	(4)	(6)	(8)	(7)	(5)	(8)	(9)	(92)	(7.7)
平成20年度	7	7	8	16	7	6	13	5	10	5	6	10	100	8.3
(2008年)	(7)	(3)	(15)	(7)	(9)	(9)	(15)	(5)	(7)	(9)	(7)	(8)	(101)	(8.4)
平成21年度	10	9	6	9	6	5	3	7	1	5	5	4	70	5.8
(2009年)	(7)	(8)	(8)	(7)	(6)	(6)	(9)	(5)	(3)	(3)	(3)	(6)	(71)	(5.9)
平成22年度	4	4	8	7	2	7	4	3	4	1	2	2	48	4.0
(2010年)	(2)	(5)	(6)	(3)	(6)	(6)	(4)	(5)	(5)	(2)	(2)	(5)	(51)	(4.3)
平成23年度	3	10	3	6	6	4	5	2	4	2	3	7	55	4.6
(2011年)	(4)	(4)	(2)	(6)	(9)	(3)	(2)	(2)	(8)	(2)	(1)	(9)	(52)	(4.3)
平成24年度	7	2	2	2	7	3	2	2	1	3	5	9	45	3.8
(2012年)	(5)	(2)	(5)	(2)	(5)	(1)	(3)	(3)	(5)	(6)	(7)	(2)	(46)	(3.8)
平成25年度	8	4	8	6	9	3	2	6	8	6	3	4	67	5.6
(2013年)	(6)	(7)	(4)	(11)	(5)	(5)	(6)	(5)	(4)	(8)	(4)	(6)	(71)	(5.9)
											()	内は、退	院患者数

②年度別 入退院患者総数



入退院患者月平均数



薬剤部

平成25年度処方枚数

単位:枚数

				平世,仅数
平成25年度		内服・外用		注射
平成20平及	外来	入院	合計	入院
H25年 4月	1, 200	848	2, 048	404
5月	1, 214	827	2, 041	415
6月	1,032	821	1, 853	426
7月	1, 211	1,024	2, 235	531
8月	1, 111	844	1, 955	461
9月	1,003	799	1, 802	378
10月	1, 193	752	1, 945	493
11月	1, 049	636	1, 685	494
12月	1, 119	658	1, 777	722
H26年 1月	1, 046	697	1, 743	689
2月	1,002	517	1, 519	460
3月	1, 105	492	1, 597	461
合計	13, 285	8, 915	22, 200	5, 934



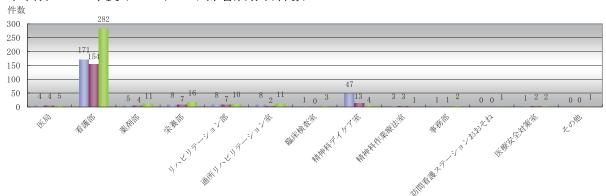
医療安全対策室

1) 平成25年度インシデント報告件数

部 署	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
医局	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	2	0	5
看護部	8	21	11	34	40	21	27	18	24	53	17	8	282
薬剤部	0	2	1	4	1	1	0	0	1	1	0	0	11
栄養部	1	0	3	2	1	0	2	1	0	4	1	1	16
リハビリテーション部	1	0	1	0	1	1	0	4	0	1	0	1	10
通所リハビリテーション室	0	0	0	0	2	1	0	0	2	1	0	5	11
臨床検査室	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	3
精神科デイケア室	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	4
精神科作業療法室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
事務部	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
訪問看護ステーションおおそね	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
医療安全対策室	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
その他	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
合計	11	24	16	41	48	25	30	25	29	65	20	15	349



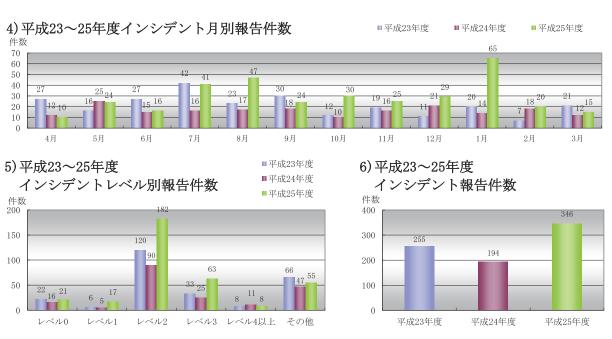
■平成23年度 ■平成24年度 ■平成25年度



3) 平成25年度インシデントレベル別報告件数

0/ 1/20 1/2 1 4 4		1 *	1 . 12 2	<u> </u>	2/								
レベル	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
レベル0	0	0	1	2	1	1	0	3	4	5	4	0	21
レベル1	0	3	1	1	0	0	3	0	2	7	0	0	17
レベル2	7	13	11	23	24	7	19	11	16	31	11	9	182
レベル3	3	8	2	7	9	8	4	4	3	9	2	4	63
レベル4以上	0	0	0	2	1	0	1	1	0	3	0	0	8
その他	0	0	1	6	12	8	3	6	4	10	3	2	55
合計	10	24	16	41	47	24	30	25	29	65	20	15	346

(同一事例1) (同一事例2) (同一事例2)

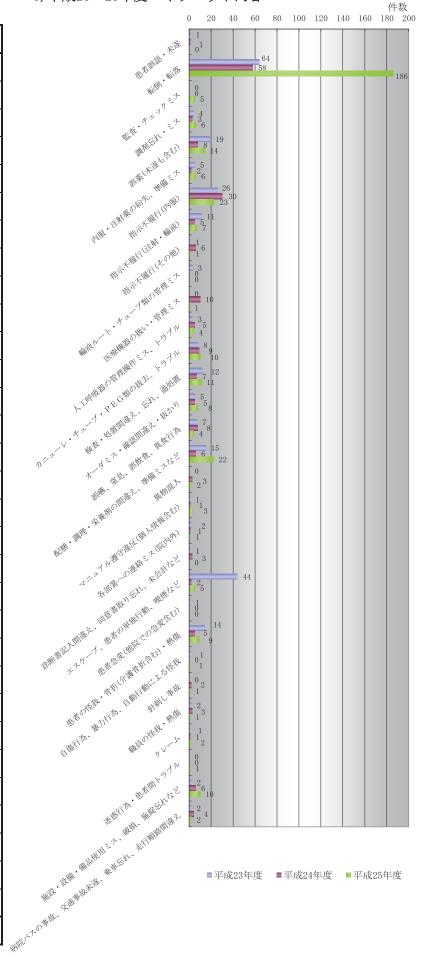


医療安全対策室

7) 平成25年度ヒヤリハット内容

平成25年度 内 容 患者誤認・未遂 0 転倒·転落 186 監査・チェックミス 5 調剤忘れ・ミス 6 誤薬(未遂も含む) 14 内服・注射薬の紛失、準備ミス 6 指示不履行(内服) 23 7 指示不履行(注射・輸液) 指示不履行(その他) 1 輸液ルート・チューブ類の 0 管理ミス 医療機器の扱い・管理ミス 1 人工呼吸器の管理操作ミス、 4 カニューレ・チューブ・PEG類の 10 抜去、トラブル 検査・処置間違え、忘れ、過処置 11 オーダミス・確認間違え・抜かり 8 誤嚥、窒息、誤飲食、異食行為 4 配膳・調理・栄養剤の間違え、 22 準備ミスなど 2 異物混入 マニュアル遵守違反 3 (個人情報含む) 各部署への連絡ミス(院内外) 診断書記入間違え、 0 同意書取り忘れ、未会計など エスケープ、患者の単独行動、 5 喫煙など 患者急変(他院での急変含む) 0 患者の怪我・ 9 骨折(介護骨折含む)・熱傷 自傷行為、暴力行為、 自動行動による怪我 1 針刺し事故 1 職員の怪我・熱傷 1 クレーム 2 迷惑行為・患者間トラブル 施設・設備・備品使用ミス、 10 破損、施錠忘れなど 病院バスの事故、交通事故未遂、 乗車忘れ、走行順路間違え 2 合計 346

8) 平成23~25年度ヒヤリハット内容



MRSA検出患者数の推移

(委員会開催日時点でのデータ)

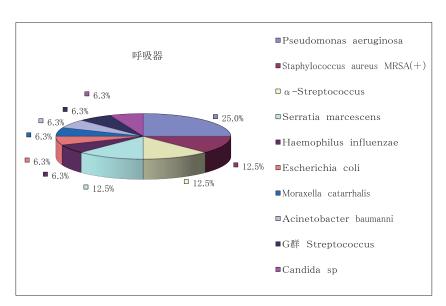
							(女貝工	ク /		
			2 病棟			3病棟			5 病棟	
平成	23年度	MRSA 検出	入院 患者数	MRSA 検出%	MRSA 検出	入院 患者数	MRSA 検出%	MRSA 検出	入院 患者数	MRSA 検出%
H23年	4月18日	3	44	6.8	11	54	20.4	2	48	4.2
	5月16日	2	42	4.8	11	53	20.8	2	52	3.8
	6月20日	2	46	4.3	11	54	20.4	2	56	3.6
	7月19日	2	45	4.4	8	54	14.8	2	54	3. 7
	8月15日	2	45	4.4	8	55	14. 5	2	54	3. 7
	9月20日	2	44	4. 5	7	52	13.5	2	54	3. 7
	10月17日	2	45	4.4	8	51	15. 7	2	56	3.6
	11月21日	2	44	4. 5	9	52	17.3	2	57	3. 5
	12月19日	2	42	4.8	7	50	14.0	2	54	3. 7
H24年	1月23日	2	44	4.5	8	54	14.8	2	53	3.8
	2月20日	2	42	4.8	8	53	15. 1	1	55	1.8
	3月22日	2	46	4.3	7	51	13. 7	1	56	1.8
<u> </u>	平均	2.08	44.08	4. 73	8. 58	52. 75	16. 27	1.83	54.08	3. 39

			2病棟			3 病棟			5 病棟	
平成	24年度	MRSA 検出	入院 患者数	MRSA 検出%	MRSA 検出	入院 患者数	MRSA 検出%	MRSA 検出	入院 患者数	MRSA 検出%
H24年	4月24日	1	44	2.3	7	54	13.0	1	57	1.8
	5月22日	1	45	2.2	7	54	13.0	1	56	1.8
	6月26日	2	44	4.5	6	53	11.3	2	55	3.6
	7月24日	2	44	4. 5	6	53	11.3	2	52	3.8
	8月28日	1	43	2.3	5	53	9.4	2	55	3.6
	9月25日	1	41	2.4	5	52	9.6	2	56	3.6
	10月23日	1	41	2.4	5	53	9.4	2	57	3. 5
	11月27日	1	42	2.4	5	52	9.6	2	56	3.6
	12月25日	1	42	2.4	4	50	8.0	1	52	1.9
H25年	1月22日	1	45	2.2	4	49	8. 2	1	51	2.0
	2月26日	2	43	4. 7	2	52	3.8	2	47	4.3
	3月26日	2	43	4. 7	1	53	1.9	2	49	4.1
7	平均	1.33	43.08	3.09	4.75	52. 33	9.08	1.67	53. 58	3. 11

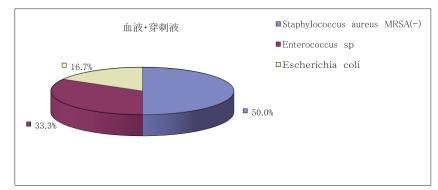
			2病棟			3 病棟			5 病棟	
平成	25年度	MRSA 検出	入院 患者数	MRSA 検出%	MRSA 検出	入院 患者数	MRSA 検出%	MRSA 検出	入院 患者数	MRSA 検出%
H25年	4月22日	2	46	4.3	1	52	1.9	2	55	3.6
	5月27日	2	42	4.8	1	52	1.9	2	51	3. 9
	6月24日	2	43	4. 7	1	51	2.0	2	55	3.6
	7月26日	2	46	4.3	2	54	3. 7	2	55	3. 6
	8月26日	1	44	2.3	2	54	3. 7	2	52	3.8
	9月11日	1	43	2.3	2	53	3.8	2	54	3. 7
	10月28日	1	44	2.3	2	51	3. 9	2	50	4.0
	11月25日	1	43	2.3	2	53	3.8	2	49	4. 1
	12月24日	1	44	2.3	2	55	3.6	2	55	3.6
H26年	1月27日	1	43	2.3	1	51	2.0	2	54	3. 7
	2月24日	1	43	2.3	1	53	1.9	2	52	3.8
	3月24日	1	44	2.3	1	55	1.8	2	49	4. 1
7	平均	1.33	43. 75	3.05	1.50	52.83	2.84	2.00	52. 58	3.80

検体別検出細菌数

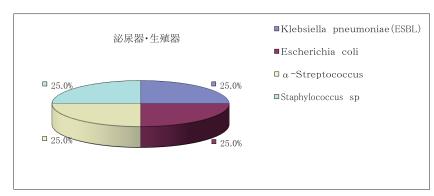
H25	呼吸器	(人)
1	Pseudomonas aeruginosa	4
2	Staphylococcus aureus MRSA(+)	2
3	α -Streptococcus	2
4	Serratia marcescens	2
5	Haemophilus influenzae	1
6	Escherichia coli	1
7	Moraxella catarrhalis	1
8	Acinetobacter baumanni	1
9	G群 Streptococcus	1
10	Candida sp	1
	合計	16



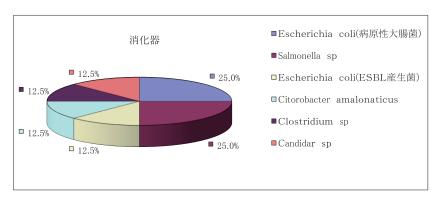
H25 血液·穿刺液	(人)
1 Staphylococcus aureus MRSA(-)	3
2 Enterococcus sp	2
3 Escherichia coli	1
合計	6



H25	泌尿器•生殖器	(人)
1	Klebsiella pneumoniae (ESBL)	1
2	Escherichia coli	1
3	α -Streptococcus	1
4	Staphylococcus sp	1
	合計	4

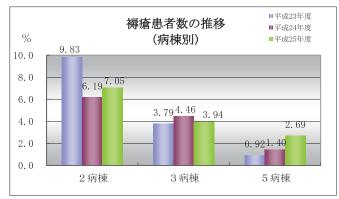


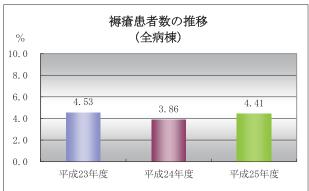
H25	消化器	(人)
1	Escherichia coli(病原性大腸菌)	2
2	Salmonella sp	2
3	Escherichia coli(ESBL産生菌)	1
4	Citorobacter amalonaticus	1
5	Clostridium sp	1
6	Candidar sp	1
	合計	8



H25 その他(褥瘡等) 検査なし

褥瘡患者数の推移





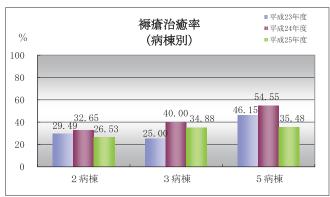
(7	を目 タ	△開	/岸口	压上	7 TO C	ハデー	A)

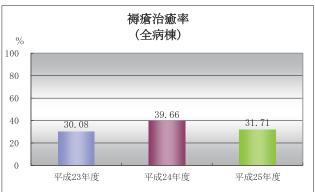
			2病棟			3病棟			5 病棟	(3,5)	云用惟口	全病棟	<i>)</i> — <i>9</i>)
平成	23年度	褥瘡治療 継続者数	入院 患者数	%	褥瘡治療 継続者数	入院 患者数	%	褥瘡治療 継続者数	入院 患者数	%			%
H23年	4月18日	6	44	13.6	3	54	5. 6	1	48	2. 1	10	146	6.8
	5月16日	4	42	9.5	1	53	1.9	0	52	0.0	5	147	3. 4
	6月20日	4	46	8. 7	1	54	1.9	0	56	0.0	5	156	3. 2
	7月19日	4	45	8. 9	1	54	1.9	0	54	0.0	5	153	3. 3
	8月15日	6	45	13. 3	4	55	7.3	0	54	0.0	10	154	6. 5
	9月20日	5	44	11.4	3	52	5.8	1	54	1.9	9	150	6.0
	10月17日	3	45	6. 7	2	51	3. 9	1	56	1.8	6	152	3. 9
	11月21日	3	44	6.8	2	52	3.8	1	57	1.8	6	153	3.9
	12月19日	4	42	9. 5	1	50	2.0	0	54	0.0	5	146	3.4
H24年	1月23日	3	44	6.8	2	54	3. 7	0	53	0.0	5	151	3. 3
	2月20日	4	42	9. 5	2	53	3.8	0	55	0.0	6	150	4.0
	3月22日	6	46	13.0	2	51	3. 9	2	56	3.6	10	153	6.5
7	平均	4. 33	44.08	9.83	2.00	52. 75	3. 79	0.50	54.08	0.92	6.83	150.92	4.53

			2病棟			3 病棟			5 病棟			全病棟	
平成	24年度	褥瘡治療 継続者数	入院 患者数	%	褥瘡治療 継続者数	入院 患者数	%	褥瘡治療 継続者数	入院 患者数	%	褥瘡治療 継続者数	総入院 患者数	%
H24年	4月24日	5	44	11.4	3	54	5.6	1	57	1.8	9	155	5.8
	5月22日	4	45	8.9	2	54	3. 7	1	56	1.8	7	155	4.5
	6月26日	2	44	4.5	4	53	7.5	1	55	1.8	7	152	4.6
	7月24日	2	44	4. 5	3	53	5. 7	1	52	1.9	6	149	4.0
	8月28日	2	43	4.7	3	53	5. 7	1	55	1.8	6	151	4.0
	9月25日	4	41	9.8	3	52	5.8	1	56	1.8	8	149	5.4
	10月23日	1	41	2.4	2	53	3.8	0	57	0.0	3	151	2.0
	11月27日	1	42	2.4	2	52	3.8	1	56	1.8	4	150	2.7
	12月25日	2	42	4.8	3	50	6.0	1	52	1.9	6	144	4. 2
H25年	1月22日	1	45	2. 2	0	49	0.0	0	51	0.0	1	145	0.7
	2月26日	4	43	9.3	1	52	1.9	0	47	0.0	5	142	3. 5
	3月26日	4	43	9.3	2	53	3.8	1	49	2.0	7	145	4.8
7	平均	2.67	43.08	6. 19	2.33	52.33	4. 46	0.75	53. 58	1.40	5. 75	149.00	3.86

			2病棟			3病棟			5 病棟			全病棟	
平成	25年度	褥瘡治療 継続者数	入院 患者数	%	褥瘡治療 継続者数	入院 患者数	%	褥瘡治療 継続者数	入院 患者数	%	褥瘡治療 継続者数	総入院 患者数	%
H25年	4月22日	4	46	8. 7	4	52	7.7	1	55	1.8	9	153	5. 9
	5月27日	3	42	7. 1	3	52	5.8	2	51	3. 9	8	145	5. 5
	6月24日	4	43	9.3	3	51	5.9	2	55	3.6	9	149	6.0
	7月26日	4	46	8.7	2	54	3. 7	2	55	3.6	8	155	5. 2
	8月26日	4	44	9.1	3	54	5.6	1	52	1.9	8	150	5.3
	9月11日	2	43	4.7	1	53	1.9	2	54	3. 7	5	150	3. 3
	10月28日	2	44	4.5	1	51	2.0	2	50	4.0	5	145	3.4
	11月25日	3	43	7.0	0	53	0.0	1	49	2.0	4	145	2.8
	12月24日	3	44	6.8	1	55	1.8	1	55	1.8	5	154	3. 2
H26年	1月27日	3	43	7.0	2	51	3. 9	1	54	1.9	6	148	4. 1
-	2月24日	3	43	7.0	4	53	7.5	1	52	1.9	8	148	5. 4
•	3月24日	2	44	4. 5	1	55	1.8	1	49	2.0	4	148	2.7
7	平均	3.08	43.75	7.05	2.08	52.83	3.94	1.42	52. 58	2.69	6. 58	149. 17	4.41

褥瘡治癒率





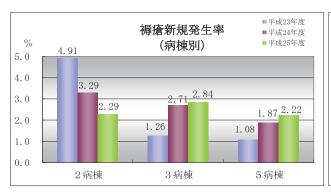
(委員会開催日時点でのデータ)

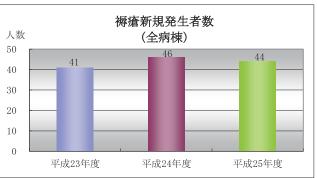
			2 病棟			3 病棟			5 病棟		ZME1~	全病棟	//
平成	23年度	褥瘡治療 継続者数 +新規発生者	治癒 者数	%	褥瘡治療 継続者数 +新規発生者	治癒 者数	%	褥瘡治療 継続者数 +新規発生者	治癒 者数	%	褥瘡治療 継続者数 +新規発生者	治癒 者数	%
H23年	4月18日	6	2	33. 3	3	2	66. 7	1	1	100.0	10	5	50.0
	5月16日	4	0	0.0	1	0	0.0	1	1	100.0	6	1	16. 7
	6月20日	5	1	20.0	1	0	0.0	3	2	66.7	9	3	33. 3
	7月19日	6	0	0.0	4	0	0.0	0	0		10	0	0.0
	8月15日	7	1	14. 3	5	1	20.0	1	0	0.0	13	2	15. 4
	9月20日	9	6	66. 7	4	2	50.0	1	0	0.0	14	8	57. 1
	10月17日	4	0	0.0	2	0	0.0	1	0	0.0	7	0	0.0
	11月21日	6	3	50.0	2	1	50.0	1	1	100.0	9	5	55.6
	12月19日	6	3	50.0	2	0	0.0	0	0		8	3	37. 5
H24年	1月23日	5	1	20.0	3	1	33. 3	0	0		8	2	25.0
	2月20日	12	3	25.0	3	1	33. 3	2	0	0.0	17	4	23.5
	3月22日	8	3	37.5	2	0	0.0	2	1	50.0	12	4	33. 3
<u>7</u>	平均	6.50	1.92	29.49	2.67	0.67	25.00	1.08	0.50	46. 15	10.25	3.08	30.08

			2 病棟			3 病棟			5 病棟		全病棟			
平成	24年度	褥瘡治療 継続者数 +新規発生者	治癒 者数	%	褥瘡治療 継続者数 +新規発生者	治癒 者数	%	褥瘡治療 継続者数 +新規発生者	治癒 者数	%	褥瘡治療 継続者数 +新規発生者	治癒 者数	%	
H24年	4月24日	6	2	33. 3	5	3	60.0	2	0	0.0	13	5	38.5	
	5月22日	4	2	50.0	6	2	33. 3	3	2	66. 7	13	6	46.2	
	6月26日	4	2	50.0	6	3	50.0	2	1	50.0	12	6	50.0	
	7月24日	3	1	33. 3	3	0	0.0	1	1	100.0	7	2	28.6	
	8月28日	7	3	42.9	3	0	0.0	3	2	66. 7	13	5	38. 5	
	9月25日	4	3	75.0	5	3	60.0	1	1	100.0	10	7	70.0	
	10月23日	2	0	0.0	4	2	50.0	2	1	50.0	8	3	37. 5	
	11月27日	2	0	0.0	3	0	0.0	1	0	0.0	6	0	0.0	
	12月25日	2	1	50.0	3	3	100.0	1	1	100.0	6	5	83.3	
H25年	1月22日	4	0	0.0	0	0		1	1	100.0	5	1	20.0	
	2月26日	6	2	33. 3	2	1	50.0	2	1	50.0	10	4	40.0	
	3月26日	5	0	0.0	5	1	20.0	3	1	33. 3	13	2	15.4	
7	平均	4.08	1.33	32.65	3. 75	1.50	40.00	1.83	1.00	54. 55	9. 67	3.83	39.66	

			2 病棟			3 病棟			5 病棟		3	全病棟	
平成	25年度	褥瘡治療 継続者数 +新規発生者	治癒 者数	%	褥瘡治療 継続者数 +新規発生者	治癒 者数	%	褥瘡治療 継続者数 +新規発生者	治癒 者数	%	褥瘡治療 継続者数 +新規発生者	治癒 者数	%
H25年	4月22日	5	1	20.0	5	2	40.0	4	2	50.0	14	5	35. 7
	5月27日	4	0	0.0	4	1	25.0	3	0	0.0	11	1	9. 1
	6月24日	4	0	0.0	4	1	25.0	3	1	33. 3	11	2	18. 2
	7月26日	7	3	42.9	5	1	20.0	3	2	66.7	15	6	40.0
	8月26日	6	4	66. 7	3	2	66. 7	2	0	0.0	11	6	54. 5
	9月11日	3	1	33. 3	1	0	0.0	2	0	0.0	6	1	16.7
	10月28日	3	0	0.0	1	1	100.0	2	0	0.0	6	1	16. 7
	11月25日	4	1	25.0	2	1	50.0	3	1	33. 3	9	3	33. 3
	12月24日	4	1	25.0	4	3	75.0	2	1	50.0	10	5	50.0
H26年	1月27日	4	1	25.0	5	1	20.0	3	2	66. 7	12	4	33. 3
	2月24日	3	1	33. 3	5	2	40.0	2	1	50.0	10	4	40.0
	3月24日	2	0	0.0	4	0	0.0	2	1	50.0	8	1	12.5
7	平均	4.08	1.08	26. 53	3. 58	1.25	34. 88	2. 58	0.92	35. 48	10. 25	3. 25	31.71

褥瘡新規発生率





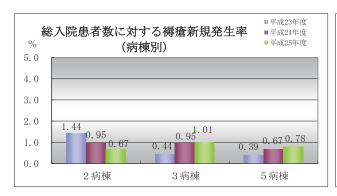
(委員	今 開催	日時	占での)データ	

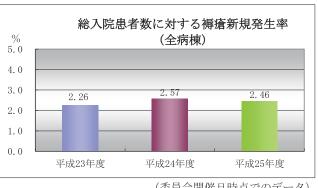
			2病棟			3 病棟			5 病棟	(22	云州作口	全病棟	<i>) '7</i>)
平成	23年度	褥瘡新規 発生者数	入院 患者数	%	褥瘡新規 発生者数	入院 患者数	%	褥瘡新規 発生者数	入院 患者数	%	褥瘡新規 発生者数	総入院 患者数	%
H23年	4月18日	0	44	0.0	0	54	0.0	0	48	0.0	0	146	0.0
	5月16日	0	42	0.0	0	53	0.0	1	52	1.9	1	147	0.7
	6月20日	1	46	2.2	0	54	0.0	3	56	5. 4	4	156	2.6
	7月19日	2	45	4.4	3	54	5. 6	0	54	0.0	5	153	3. 3
	8月15日	1	45	2.2	1	55	1.8	1	54	1.9	3	154	1.9
	9月20日	4	44	9. 1	1	52	1.9	0	54	0.0	5	150	3. 3
	10月17日	1	45	2.2	0	51	0.0	0	56	0.0	1	152	0.7
	11月21日	3	44	6.8	0	52	0.0	0	57	0.0	3	153	2.0
	12月19日	2	42	4.8	1	50	2.0	0	54	0.0	3	146	2. 1
H24年	1月23日	2	44	4.5	1	54	1.9	0	53	0.0	3	151	2.0
	2月20日	8	42	19.0	1	53	1.9	2	55	3.6	11	150	7. 3
	3月22日	2	46	4.3	0	51	0.0	0	56	0.0	2	153	1.3
î	合計	26	529		8	633		7	649		41	1811	
7	平均	2.17	44.08	4.91	0.67	52.75	1.26	0.58	54.08	1.08	3.42	150.92	2. 26

			2病棟			3 病棟			5 病棟			全病棟	
平成	24年度	褥瘡新規 発生者数	入院 患者数	%	褥瘡新規 発生者数	入院 患者数	%	褥瘡新規 発生者数	入院 患者数	%	褥瘡新規 発生者数	総入院 患者数	%
H24年	4月24日	1	44	2.3	2	54	3. 7	1	57	1.8	4	155	2.6
	5月22日	0	45	0.0	4	54	7.4	1	56	1.8	5	155	3. 2
	6月26日	2	44	4. 5	2	53	3.8	1	55	1.8	5	152	3. 3
	7月24日	1	44	2.3	0	53	0.0	0	52	0.0	1	149	0.7
	8月28日	5	43	11.6	0	53	0.0	2	55	3.6	7	151	4.6
	9月25日	0	41	0.0	2	52	3.8	0	56	0.0	2	149	1.3
	10月23日	1	41	2.4	2	53	3.8	2	57	3. 5	5	151	3. 3
	11月27日	1	42	2.4	1	52	1.9	0	56	0.0	2	150	1.3
	12月25日	0	42	0.0	0	50	0.0	0	52	0.0	0	144	0.0
H25年	1月22日	3	45	6. 7	0	49	0.0	1	51	2.0	4	145	2.8
	2月26日	2	43	4. 7	1	52	1.9	2	47	4.3	5	142	3. 5
	3月26日	1	43	2.3	3	53	5. 7	2	49	4. 1	6	145	4. 1
É	 計	17	517		17	628		12	643		46	1788	
7	平均	1.42	43.08	3. 29	1.42	52. 33	2.71	1.00	53. 58	1.87	3.83	149.00	2.57

			2病棟			3病棟			5 病棟			全病棟	
平成	25年度	褥瘡新規 発生者数	入院 患者数	%	褥瘡新規 発生者数	入院 患者数	%	褥瘡新規 発生者数	入院 患者数	%	褥瘡新規 発生者数	総入院 患者数	%
H25年	4月22日	1	46	2. 2	1	52	1.9	3	55	5. 5	5	153	3. 3
	5月27日	1	42	2.4	1	52	1.9	1	51	2.0	3	145	2. 1
	6月24日	0	43	0.0	1	51	2.0	1	55	1.8	2	149	1.3
	7月26日	3	46	6.5	3	54	5.6	1	55	1.8	7	155	4.5
	8月26日	2	44	4. 5	0	54	0.0	1	52	1.9	3	150	2.0
	9月11日	1	43	2.3	0	53	0.0	0	54	0.0	1	150	0.7
	10月28日	1	44	2.3	0	51	0.0	0	50	0.0	1	145	0.7
	11月25日	1	43	2.3	2	53	3.8	2	49	4. 1	5	145	3.4
	12月24日	1	44	2.3	3	55	5. 5	1	55	1.8	5	154	3. 2
H26年	1月27日	1	43	2.3	3	51	5. 9	2	54	3. 7	6	148	4. 1
	2月24日	0	43	0.0	1	53	1.9	1	52	1.9	2	148	1.4
	3月24日	0	44	0.0	3	55	5. 5	1	49	2.0	4	148	2.7
	合計	12	525		18	634		14	631		44	1790	
7	平均	1.00	43. 75	2. 29	1.50	52.83	2.84	1.17	52. 58	2. 22	3.67	149. 17	2.46

総入院患者数に対する褥瘡新規発生率





										(安貝	会開催日		アータ)
			2病棟			3 病棟			5 病棟			全病棟	
平成	₹23年度	褥瘡新規 発生者数	入院 患者数	%	褥瘡新規 発生者数	入院 患者数	%	褥瘡新規 発生者数	入院 患者数	%	褥瘡新規 発生者数	総入院 患者数	%
H23年	4月18日	0	44	0.0	0	54	0.0	0	48	0.0	0	146	0.0
	5月16日	0	42	0.0	0	53	0.0	1	52	0.7	1	147	0.7
	6月20日	1	46	0.6	0	54	0.0	3	56	1.9	4	156	2.6
	7月19日	2	45	1.3	3	54	2.0	0	54	0.0	5	153	3. 3
	8月15日	1	45	0.6	1	55	0.6	1	54	0.6	3	154	1.9
	9月20日	4	44	2. 7	1	52	0.7	0	54	0.0	5	150	3. 3
	10月17日	1	45	0.7	0	51	0.0	0	56	0.0	1	152	0.7
	11月21日	3	44	2.0	0	52	0.0	0	57	0.0	3	153	2.0
	12月19日	2	42	1.4	1	50	0.7	0	54	0.0	3	146	2. 1
H24年	1月23日	2	44	1.3	1	54	0.7	0	53	0.0	3	151	2.0
	2月20日	8	42	5.3	1	53	0.7	2	55	1.3	11	150	7. 3
	3月22日	2	46	1.3	0	51	0.0	0	56	0.0	2	153	1.3
1	合計	26	529		8	633		7	649		41	1811	
3	平均	2 17	44 08	1 44	0.67	52 75	0 44	0.58	54 08	0.39	3 42	150 92	2.26

			2病棟			3病棟			5 病棟			全病棟	
平成	24年度	褥瘡新規 発生者数	入院 患者数	%	褥瘡新規 発生者数	入院 患者数	%	褥瘡新規 発生者数	入院 患者数	%	褥瘡新規 発生者数	総入院 患者数	%
H24年	4月24日	1	44	0.6	2	54	1.3	1	57	0.6	4	155	2.6
	5月22日	0	45	0.0	4	54	2.6	1	56	0.6	5	155	3. 2
	6月26日	2	44	1.3	2	53	1.3	1	55	0.7	5	152	3. 3
	7月24日	1	44	0.7	0	53	0.0	0	52	0.0	1	149	0.7
	8月28日	5	43	3. 3	0	53	0.0	2	55	1.3	7	151	4.6
	9月25日	0	41	0.0	2	52	1.3	0	56	0.0	2	149	1.3
	10月23日	1	41	0.7	2	53	1.3	2	57	1.3	5	151	3.3
	11月27日	1	42	0.7	1	52	0.7	0	56	0.0	2	150	1.3
	12月25日	0	42	0.0	0	50	0.0	0	52	0.0	0	144	0.0
H25年	1月22日	3	45	2. 1	0	49	0.0	1	51	0.7	4	145	2.8
	2月26日	2	43	1.4	1	52	0.7	2	47	1.4	5	142	3.5
	3月26日	1	43	0.7	3	53	2. 1	2	49	1.4	6	145	4. 1
É	} 計	17	517		17	628		12	643		46	1788	
<u>x</u>	平均	1.42	43.08	0.95	1.42	52. 33	0.95	1.00	53. 58	0.67	3.83	149.00	2.57

			2病棟			3 病棟			5 病棟			全病棟	
平成	25年度	褥瘡新規 発生者数	入院 患者数	%	褥瘡新規 発生者数	入院 患者数	%	褥瘡新規 発生者数	入院 患者数	%	褥瘡新規 発生者数	総入院 患者数	%
H25年	4月22日	1	46	0.7	1	52	0.7	3	55	2.0	5	153	3. 3
	5月27日	1	42	0.7	1	52	0.7	1	51	0.7	3	145	2.1
	6月24日	0	43	0.0	1	51	0.7	1	55	0.7	2	149	1.3
	7月26日	3	46	1.9	3	54	1.9	1	55	0.6	7	155	4.5
	8月26日	2	44	1.3	0	54	0.0	1	52	0.7	3	150	2.0
	9月11日	1	43	0.7	0	53	0.0	0	54	0.0	1	150	0.7
	10月28日	1	44	0.7	0	51	0.0	0	50	0.0	1	145	0.7
	11月25日	1	43	0.7	2	53	1.4	2	49	1.4	5	145	3.4
	12月24日	1	44	0.6	3	55	1.9	1	55	0.6	5	154	3.2
H26年	1月27日	1	43	0.7	3	51	2.0	2	54	1.4	6	148	4.1
	2月24日	0	43	0.0	1	53	0.7	1	52	0.7	2	148	1.4
	3月24日	0	44	0.0	3	55	2.0	1	49	0.7	4	148	2.7
É	計	12	525		18	634		14	631		44	1790	
<u>7</u>	平均	1.00	43.75	0.67	1.50	52.83	1.01	1.17	52. 58	0.78	3.67	149.17	2.46

栄養部

1) NST (栄養サポートチーム) の活動状況

平成25	5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催	数	4	4	4	4	5	4	3	4	4	4	4	3	47
	2病棟	5	5	6	5	9	5	9	6	11	8	6	3	78
対象者 人数	3病棟	7	7	4	4	5	3	2	1	2	1	0	7	43
	5 病棟	1	1	2	8	7	7	3	3	3	8	4	2	49
対象人物	数合計	13	13	12	17	21	15	14	10	16	17	10	12	170
ラウン	ド数	7	5	5	6	2	3	2	5	9	5	4	8	61
コンサルテ	ーション	13	13	12	17	21	15	14	10	16	17	10	12	170

NST勉強会

H25.5.24 (金) 喉頭内視鏡の検討

H25.6.14(金) 三和化学 リカバリーアミノについての勉強会

H25.7.12(金) 咀嚼・嚥下困難な人の食形態区分表の検討 要介護の食事支援の着眼点と手法(高知口のリハビリテーション研究会報告)

H25.7.19(金) ペムノン (バナナ味) の試飲

H25.8.23 (金) 電子カルテ化に伴うNSTの記載記録について

H25.9.13 (金) 経管栄養剤の勉強会

・メディエフプッシュケア2.5

・ディムス

·アキュアEN

H25.10.18 (金) 嚥下造影検査の集計と報告 (H24)

H25.11.1(金) ペムパムとろみ付、アイソカルセミソリッドの勉強会

H25.11.29(金) 四国摂食嚥下研究会 予演(言語聴覚士 桑原生子)

H26.1.22 (水) サルコペニアと栄養管理 (ネスレ日本株式会社 林篤男氏)

H26.1.24(金) 食物繊維とオリゴ糖について

(旭化成L-3ファイバーズMPバッグ)

H26.2.7 (金) イソロイシン配合栄養剤の長期摂取による血糖コントロールに関する報告 (味の素ディムベスト)

H26.2.14(金) 栄養剤半固形化の最新情報

嚥下スクリーニングツールについての検討

H26.2.21(金) 食物繊維とオリゴ糖の働きについて(旭化成ファーマ株式会社 浦野知明氏)

H26.2.28(金) 高齢者肺炎と誤嚥に対する新しい対処法(高知音声言語嚥下研究会報告)

2) 栄養指導

平成25	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
指導	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
11年	外来	1	1	4	1	3	1	1	1	3	0	3	3	22
	入院	0	3	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	6
相談	外来	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	通所リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科	回数	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
栄養教室	人数	0	28	24	31	28	28	28	31	28	29	35	23	313
精神科 デイケア	回数	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	11
栄養教室	人数	6	9	6	5	5	5	0	3	5	5	3	4	56
特定保健	動機付け	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指導	積極的	2	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6
回数个	 合計	4	7	9	4	5	3	2	5	5	4	5	8	61
対象者人	.数合計	9	42	37	38	36	34	29	37	36	36	41	33	408

3) 栄養管理計画書作成件数

平成25年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2病棟	23	21	19	26	16	25	24	23	21	22	24	21	265
3病棟	20	17	11	13	18	18	15	16	13	12	13	21	187
5 病棟	32	19	24	26	27	16	21	22	18	20	19	19	263
合計	75	57	54	65	61	59	60	61	52	54	56	61	715

4) 食数

平成25年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
患者	12, 727	12, 897	12, 578	13, 202	13, 070	12, 785	12, 895	12, 190	13, 043	12, 880	11, 530	12, 939	152, 736
職員	1,040	1,062	1, 022	1,062	1,053	1,050	1, 099	1,070	1,072	1, 099	974	1,054	12, 657
精神科デイケア室	324	312	300	305	333	273	288	316	268	271	289	305	3, 584
通所リハビリテーション室	216	230	247	281	261	260	335	315	297	277	245	290	3, 254
通所リハビリテーション職員	15	12	18	35	22	32	74	34	28	43	27	16	356
合計	14, 322	14, 513	14, 165	14, 885	14, 739	14, 400	14, 691	13, 925	14, 708	14, 570	13, 065	14, 604	172, 587

5) 選択食実施回数

平成25年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
選択食実施	12	15	12	12	14	12	14	12	12	12	12	12	151

6) 個別対応食

平成25年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
個別対応食	58	53	57	63	79	58	63	42	30	39	31	32	605

7) 栄養情報提供書作成件数

平成25年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
栄養情報提供書	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2	2	1	7

8)行事食

H25.4.2 (火) 花見弁当

H25.4.17 (水) 病院開院記念献立

H25.5.5 (目) 子供の日

H25.6.13 (木) あじさい弁当

H25.7.7 (目) 七夕カレー

H25.7.22 (月) 土用の丑の日

H25.8.24 (土) 納涼祭

H25.9.12 (木) お月見献立

H25.9.16 (月) 敬老の日

H25.12.19 (木) デザートバイキング

H25.12.24 (火) クリスマス献立

H26.1.1 (水) 正月祝い折り

H26.2.3 (月) 節分

H26.2.14(金) バレンタイン献立

H26.3.3 (月) 桃の節句

9)調査

H25.6月 平成24年度新規褥瘡発生時の栄養状態調査

H25.11月 選択食についてのアンケート

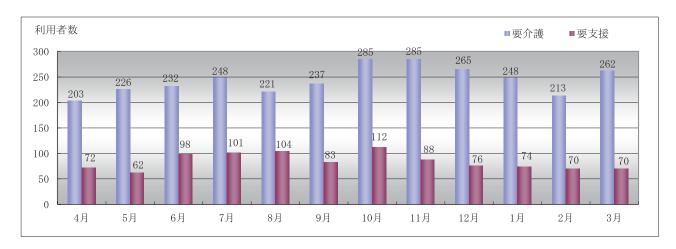
H25.11月 嗜好調査

在宅医療支援センター

通所リハビリテーション室利用者数

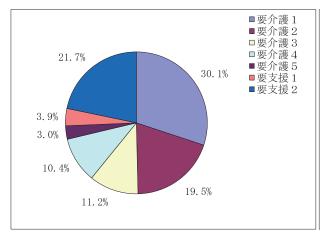
1) 平成25年度月別利用者数

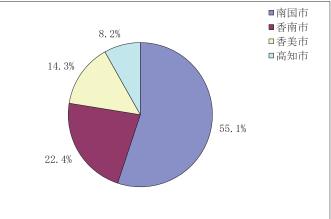
平成25年度	要介護	要支援	合計
H25年 4月	203	72	275
5月	226	62	288
6月	232	98	330
7月	248	101	349
8月	221	104	325
9月	237	83	320
10月	285	112	397
11月	285	88	373
12月	265	76	341
H26年 1月	248	74	322
2月	213	70	283
3月	262	70	332
合計	2, 925	1,010	3, 935
月平均	243.8	84. 2	327. 9



2) 平成25年度介護度別延利用者数

3) 平成25年度地域別利用者数

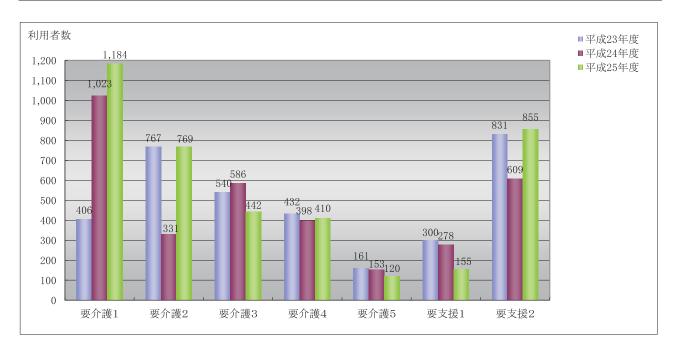




通所リハビリテーション室利用者数

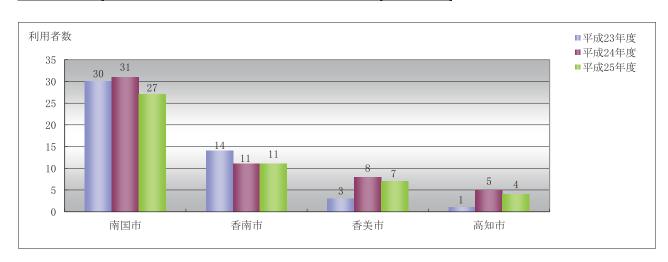
4) 平成23~25年度介護度別延利用者数

年 度	要介護 1	要介護 2	要介護3	要介護4	要介護 5	要支援 1	要支援2	合計
平成23年度	406	767	540	432	161	300	831	3, 437
平成24年度	1,023	331	586	398	153	278	609	3, 378
平成25年度	1, 184	769	442	410	120	155	855	3, 935



5) 平成23~25年度地域別利用者数

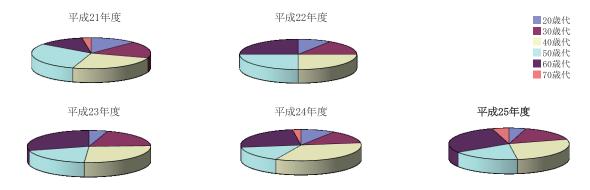
年 度	南国市	香南市	香美市	高知市	合計
平成23年度	30	14	3	1	48
平成24年度	31	11	8	5	55
平成25年度	27	11	7	4	49



精神科デイケア室利用者数

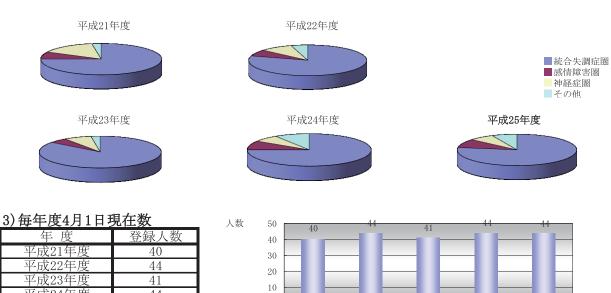
1)年齢階層別登録人数

<u> </u>	417 1291				
年 齢	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
10歳代	0	0	0	0	0
20歳代	5	4	2	4	2
30歳代	7	7	8	6	7
40歳代	10	11	11	15	12
50歳代	12	11	8	7	8
60歳代	5	11	12	11	13
70歳代	1	0	0	1	2
80歳代	0	0	0	0	0
登録人数(計)	40	44	41	44	44



2)疾患群別登録人数

	/ \ 2/\				
疾 患 群	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
統合失調症圏	30	35	35	33	34
感情障害圏	3	3	2	4	4
神経症圏	6	4	3	3	3
その他	1	2	1	4	3
登録人数(計)	40	44	41	44	44

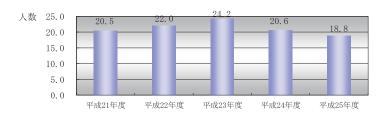


平成21年度

十成22十段	44
平成23年度	41
平成24年度	44
平成25年度	44

4) 毎年度4月平均参加人数

年 度	登録人数
平成21年度	20.5
平成22年度	22.0
平成23年度	24. 2
平成24年度	20.6
平成25年度	18.8



平成23年度

平成24年度

平成25年度

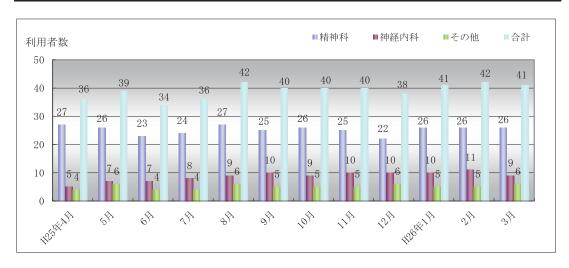
平成22年度

0

訪問看護ステーションおおそね利用者数

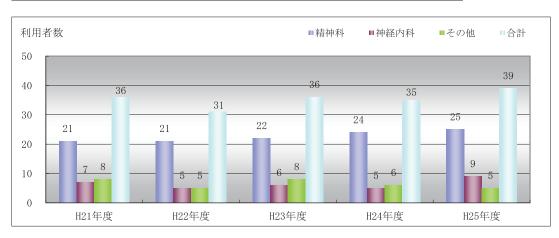
1) 平成25年度月別利用者数

平成25年	精神科	神経内科	その他	合計	延利用者数
H25年4月	27	5	4	36	145
5月	26	7	6	39	166
6月	23	7	4	34	146
7月	24	8	4	36	186
8月	27	9	6	42	207
9月	25	10	5	40	172
10月	26	9	5	40	197
11月	25	10	5	40	186
12月	22	10	6	38	178
H26年1月	26	10	5	41	197
2月	26	11	5	42	190
3月	26	9	6	41	194
合計	303	105	61	469	2, 164
月平均	25. 3	8.8	5. 1	39. 1	180.3



2)年度別月平均利用者数

年 度	精神科	神経内科	その他	合計
H21年度	21	7	8	36
H22年度	21	5	5	31
H23年度	22	6	8	36
H24年度	24	5	6	35
H25年度	25	9	5	39



訪問看護ステーションおおそね利用者数

3) 平成23~25年度訪問回数別利用者数

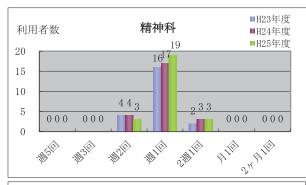
		4.1.4/14 H 5/V		
H23年度	精神科	神経内科	その他	合計
週5回	0	0	0	0
週3回	0	0	0	0
週2回	4	3	0	7
週1回	16	3	7	26
2週1回	2	0	1	3
月1回	0	0	0	0
2ヶ月1回	0	0	0	0
合計	22	6	8	36

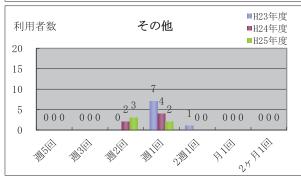
H24年度	精神科	神経内科	その他	合計
週5回	0	0	0	0
週3回	0	0	0	0
週2回	4	2	2	8
週1回	17	3	4	24
2週1回	3	0	0	3
月1回	0	0	0	0
2ヶ月1回	0	0	0	0
合計	24	5	6	35

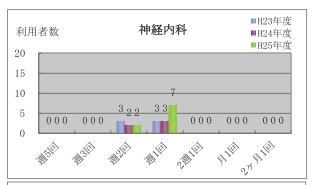
H25年度	精神科	神経内科	その他	合計
週5回	0	0	0	0
週3回	0	0	0	0
週2回	3	2	3	8
週1回	19	7	2	28
2週1回	3	0	0	3
月1回	0	0	0	0
2ヶ月1回	0	0	0	0
合計	25	9	5	39

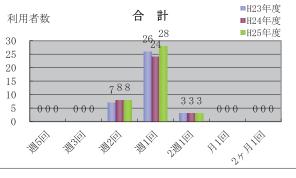
一時期間

週3回 1名 特別指示書による毎日 1名









平成25年度 実習受け入れ状況

◎高知大学医学部医学科プライマリケア実習をお引き受けして

当院では平成18年より高知大学医学部医学科5年生プライマリケア実習をお引き受けしています。 当院の専門性から神経内科実習と精神科実習の二つに分け、それぞれ一人ずつ各3日間の実習を行っています。主として外来診察の見学と病棟回診における診察技術の学習を行い、病院リハビリや在宅部門である通所リハビリ、精神科デイケアの見学、参加も含まれます。大学病院では経験できない豊富で貴重な症例や重症神経難病に対する様々な療養支援を体験でき、多職種協働の重要性と医療現場での医師の役割の重要性を学んでいただければ幸いです。卒前より地域医療の現場で実習することは意義深く、今後も喜んでそのお手伝いをさせて頂きたいと考えています。当院で実習を受けた学生さんが少しでも県内に定着し、将来地域医療の現場で共に仕事ができることを祈っております。

病院長 中澤宏之

学校名	学科	学年	研修内容	期間	人数
高知大学医学部	医学科	5年生	神経内科	3日間	1
高知大学医学部	医学科	5年生	精神科	"	1

◎リハビリテーション部での実習生の受け入れについて

当院リハビリテーション部では、理学療法室において平成20年4月より高知リハビリテーション学院から実習生の受け入れを始めました。翌年3月からは愛媛県の河原医療大学校からも受け入れ、現在2校の実習施設となっています。また、言語聴覚療法室では、平成21年より大阪保健医療大学より、作業療法室においても平成25年度より高知リハビリテーション学院より実習生を受け入れています。

臨床実習の具体的な内容及び期間は、養成校により若干違いますが、大まかには1週間の病院見学 実習、2~3週間の検査・評価実習、約2ヶ月の長期実習が各学年によって行われます。臨床現場で の実習を通じて、いろいろな経験を積み必要な知識、技能の習得を行っていきます。

当院での実習の一番の特徴は神経難病の理解が深まることにあります。骨折など比較的明快な疾患とは異なり、多岐にわたる症状がみられ、その多くは進行性です。学生は疾患のことだけではなく、そのような患者さんにどのように関わっていくのか、どのように対応すれば良いのか、倫理的な部分も学んでいきます。こうしたことで人間的にもより一層成長できるのではないでしょうか。

学生を受け入れる側としても、治療の手伝いを頼めるなど助かる事も多いです。また、患者さんも若い学生さんとふれ合う事で訓練意欲が上がったり、運動の機会が増えるなど利点が多くあります。 長期実習では学生が受け持った患者さんは情が移り、別れがつらくなる事もありました。学生指導には時間もとられ、大変なことも多いですが、受ける側も刺激になり、双方に利益をもたらしてくれます。これからも患者さんに寄り添った、思いやりのあるリハビリスタッフの養成に努めてまいります。

リハビリテーション部長 市村瑞也

◎理学療法臨床実習

学校名	学科	学年	期間	人数
高知リハビリテーション学院	理学療法学科	4年生	9週間	3
河原医療大学校	理学療法学科	3年生	8週間	1

◎理学療法評価実習

学校名	学科	学年	期間	人数
高知リハビリテーション学院	理学療法学科	3年生	3週間	2
河原医療大学校	理学療法学科	2年生	2週間	2

◎理学療法見学実習

学校名	学科	学年	期間	人数
高知リハビリテーション学院	理学療法学科	2年生	1週間	1

◎言語聴覚療法臨床実習

学校名	学科	学年	期間	人数
大阪保健医療大学	言語聴覚専攻科	2年生	8週間	1

◎作業療法見学実習(身体障害部門)

学校名	学科	学年	期間	人数
高知リハビリテーション学院	作業療法学科	2年生	2週間	2

◎精神科作業療法見学実習

学校名	学科	学年	期間	人数
高知リハビリテーション学院	作業療法学科	2年生	1週間	3

◎精神科デイケアでの実習生の受け入れについて

当院精神科デイケアでは、作業療法において平成21年7月より土佐リハビリテーションカレッジから実習生の受け入れを始めました。

臨床実習の具体的な内容及び期間は、2日間の見学実習、2週間の評価実習、8週間の長期実習が 各学年によって行われています。

当精神科デイケアでの実習は、精神科・精神疾患について理解を深め、退院後の地域生活をどのように送っていくか、再発せず地域で生活していくためにはどうすべきか、就学や就労をするためには

何が必要か等、患者さんと共に考え、患者さんの意志を尊重しながら支援していくかを考えていきます。また、病棟にも週1回実習を行い、入院中の作業療法について学習したり、病棟での生活について見学させてもらったりしています。

学生を受け入れる側としても、活動に積極的に参加してくれるため活気が出たりと助かる面もあります。そして、患者さんも学生さんと関わることで活動意欲が上がったり、良い刺激を受けるといった利点もあります。日々の業務と学生指導とで患者さんや学生には迷惑をかけてしまうこともありますが、スタッフ、患者さん、学生にとって利益をもたらせてくれます。今後も"患者さんと共に"の気持ちをもてるような作業療法士の養成に努めていきたいと思います。

精神科デイケア 作業療法士 今城恵理

◎精神科デイケア臨床評価実習

学校名	学科	学年	期間	人数
土佐リハビリテーションカレッジ	作業療法学科	2年生	2週間	1

◎精神科デイケア臨床総合実習

学校名	学科	学年	期間	人数
土佐リハビリテーションカレッジ	作業療法学科	4年生	8週間	1

◎精神科デイケア見学実習

学校名	学科	学年	期間	人数
土佐リハビリテーションカレッジ	作業療法学科	2年生	2日×3回	6

◎高知県神経難病医療従事者研修事業について

神経難病医療従事者研修事業は、一般協力病院・診療所に勤務する看護職員が、神経難病患者への 理解を深め、人工呼吸器管理等の看護技術を習得することで、一般協力病院・診療所での重症神経難 病患者の受け入れ環境の向上を図り、また、看護師間の情報交換等による連携強化により看護のネットワーク化につなげることを目的としています。

内容は、「講義 神経難病医療について」「人工呼吸器装着等医療依存度の高い神経難病患者の日常生活援助の実際」「呼吸管理の実際」「退院指導計画の進め方と在宅療養の継続看護」「訪問看護ステーションの看護活動の実際」に沿った研修を高知県神経難病医療ネットワーク事業として、当院が委託を受け実施しています。

本年度より、さらに充実した研修となるよう研修前アンケートを実施しています。それにより研修者のニーズは看護だけに留まらず、リハビリテーションや栄養等多岐にわたっていることがわかりました。このアンケートを基に、多職種が研修に関わることで当院自慢のチーム医療を経験してもらえたと思います。また、私達看護師もいつもと違う患者さんの一面を知る機会になります。そして、研修総括やアンケートで研修者の皆さんから好意的なご意見をいただくと共に、有意義な意見交換を行えることで私達のモチベーションアップに繋がっています。

今年でこの研修事業を始めて7年が経過しました。県下の医療従事者の方々にも広く認知されるよ

うになったのか、今年は初めて理学療法士と保健師を受け入れました。看護師以外の医療職にも神経 難病患者と関わり方を学んでいただける良い機会を提供しているという自信になると共にニーズの広 がりを感じています。

今後もこの研修を通して、他施設の医療職の方々との情報交換を行い、連携強化ができれば神経難病ネットワークがさらに広がり、患者さん達が安心して療養できる環境作りに貢献できるものと思っております。それと同時に当院の看護サービスの質の向上、スキルアップにも繋がると感じています。

3病棟看護師長 井土芳恵

医療機関名・施設名	職種	期間	人数
高知県安芸福祉保健所	保健師	3日間	1
高知県安芸福祉保健所	理学療法士	11	1
医療法人慈恵会 中村病院	看護師	11	2
医療法人高田会 高知記念病院	看護師	11	1
医療法人高田会 訪問看護ステーション城見	看護師	11	1
訪問看護ステーション きだわら	看護師	"	1
訪問看護ステーション ドリームチーム	看護師	11	2
フレアス訪問看護ステーション高知	看護師	11	1

◎公益社団法人高知県看護協会主催 ふれあい看護体験

「ふれあい看護体験」は、看護体験を通して、看護についての理解と関心を深めてもらい、一人でも多くの方が看護師をはじめ、医療関係の進路に進んでくれることを目的とし、高知県下の病院、介護施設において高校性、社会人を対象として行われています。本年度は457名の方にご参加頂きました。

当院においても、高校性4名の参加があり、病院内見学、神経難病病棟での看護体験、精神科作業療法で患者さんと一緒に料理に挑戦する等の体験を通して看護にふれてもらいました。

体験終了後の意見交換会では、「貴重な体験が出来た」「自分の将来について考える時にすごく役立つ」「もう一度参加してみたい」等の感想が聞かれました。

今回の「ふれあい看護体験」が将来の看護師への道に繋がってくれれば幸いです。

看護部長 佐光真由美

学校名	学年	期間	人数
高知県立山田高等学校	3年生	1日間	1
高知県立高知南高等学校	2年生	"	1
高知県立安芸高等学校	1年生	"	1
高知学芸高等学校	1年生	"	1

平成25年度 院内学術研修会

	開催日	内 容	講師・発表者	参加者
1	4/17 (水)	第2回 開院記念院内発表会	各部署より計14名	120名 アンケート 提出者112名
2	4/24 (水)	個人情報保護に関する研修会 「医療機関における個人情報保護」	病院長中澤 宏之	77名 アンケート 提出者71名
3	5/2·21 (木·火)	医療安全研修会① ~BLS・AED~	内科部長 川村 一子	158名 アンケート 提出者141名
4	5/31 (金)	倫理研修会 ~症例検討会~	内科部長 川村 一子	77名 アンケート 提出者72名
5	6/4·20 (火·木)	感染対策研修会① 写真で見る感染対策チェックポイント	臨床検査室室長 小松 則子	135名 アンケート 提出者130名
6	6/25 (火)	南国病院の神経内科の概要	副院長 吉村 公比古	74名 アンケート 提出者68名
7	7/24 (水)	行動制限研修会① 精神科病棟に入院するまでに生じる 行動制限について 〜人権を守る法的規制を中心に〜	精神科部長 玉元 徹	72名 アンケート 提出者64名
8	7/31 (水)	就業規則について 〜働きやすい職場作りをめざして〜	事務部長 演窪 格	80名 アンケート 提出者77名
9	8/1 (木)	医療安全研修会② ~医薬品の安全管理~	薬剤部長 堅田 利廣	73名 アンケート 提出者69名
10	8/20 (火)	褥瘡対策研修会① 褥瘡予防・管理ガイドライン 〜褥瘡の発生・褥瘡予防〜 〜創の状態に応じたドレッシング材の選択〜	スミス・アンド・ネフュー ウンド マネジメント(株) 広島営業所 磯﨑 崇臣氏	64名 アンケート 提出者64名
11	9/6 (金)	感染対策研修会② 手指衛生 5つのタイミング	高知県立幡多けんみん病院 感染管理部長 川村 昌史先生	73名 アンケート 提出者72名
12	9/17 (火)	予演会 第19回 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会 「嚥下造影検査と嚥下内視鏡検査同時施行による 神経難病患者の嚥下機能評価」	言語聴覚療法室室長 桑原 生子	61名 アンケート 提出者57名
13	10/8·24 (火·木)	医療安全研修会③ リスクアセスメントについて	医療安全対策室 医療安全管理者 大黒 千明	140名 アンケート 提出者137名
14	10/11 (金)	特別講演「精神科患者の転倒と骨折」	医療法人愛精会 あいせい紀年病院 副院長 鈴木 正孝先生	57名 アンケート 提出者55名
15	10/31 (木)	リハビリでよく使われる用語	リハビリテーション部長 市村 瑞也 作業療法室室長 竹村 亜紀 言語聴覚療法室室長 桑原 生 子	73名 アンケート 提出者68名

平成25年度 院内学術研修会

	開催日	内 容	講師・発表者	参加者
16	11/5 (火)	予演会 第1回 日本難病医療ネットワーク学会学術集会 「神経難病医療従事者研修に取り組んで」 ~7年間の振り返り~	2 病棟看護師 山口 由紀	72名 アンケート 提出者68名
17	11/14·21 (木)	感染対策研修会③ 流行に備えよう! インフルエンザとノロウイルス	臨床検査室室長 小松 則子	133名 アンケート 提出者123名
18	11/28 (木)	当院の精神科患者の概要	精神科部長 玉元 徹	63名 アンケート 提出者59名
19	12/4 (水)	予演会 第37回 中国・四国精神保健学会 「陰性感情を抱いた看護者へのサポートを考える」 ~看護師に対して著しい暴言、粗暴行為のあった 事例を通して~	5 病棟看護師 新階 友美	62名 アンケート 提出者59名
20	12/5 (木)	"放射線"を理解しよう!! 被曝に対する誤解を解くために・・・	診療放射線技師 山﨑 一成	59名 アンケート 提出者56名
21	12/20 (金)	行動制限研修会② 精神科病棟に入院中の行動制限について	精神科部長 玉元 徹	47名 アンケート 提出者46名
22	1/9 (木)	医療安全研修会④ 〜医薬品安全管理〜 「ダブルバッグには理由があります」	(株)大塚製薬工場 徳島支店 徳島営業所 二課 高知担当 専任課長 橋本 聖一氏	73名 アンケート 提出者69名
23	1/22 (水)	NST研修会 「サルコペニアと栄養管理」	ネスレ日本(株) ネスレヘルス サイエンスカンパニー 中四国支店 四国営業所 林 篤男氏	61名 アンケート 提出者59名
24	1/31 (金)	褥瘡対策研修会② ~褥瘡の局所治療~	内科部長 川村 一子	56名 アンケート 提出者55名
25	2/7 (金)	「平成25年度看護職のワーク・ライフ・バランス 推進ワークショップ」 ~2年目の取り組み~	ワーク・ライフ・バランス 推進委員会 看護部長 佐光 真由美	73名 アンケート 提出者65名
26	2/21 (金)	医療ガス講習会 〜東日本大震災から学ぶ〜 〜酸素ボンベ取扱いマニュアル〜	四国アセチレン工業(株) 所長代理 櫛田 正利氏	57名 アンケート 提出者57名
27	2/26 (水)	防災・防犯管理研修会	特任事務部長補佐 川井 信弘	56名 アンケート 提出者52名
28	3/19 (水)	看護部チーム会活動の振り返り	看護部チーム会	62名 アンケート 提出者57名
29	3/27 (木)	接遇研修 〜あなたは・・・大丈夫ですか? みんなで考えてみましょう〜	学術研修委員会	74名 アンケート 提出者71名

第2回 開院記念院内発表会

《 平成25年4月17日 (水)13:00 ~ 17:00 》 在宅医療支援センター・センターホール

第1部 座長 玉元 徹 精神科部長

	演 題	部 署 ・ 職 種	発 表 者
1	高知咀嚼嚥下困難な人の食形態区分と 当院での食事提供	栄養部 栄養士	溝渕 有紀
2	当院における臨床工学技士の役割と今後の展望	医療安全対策室 臨床工学技士	森本 直樹
3	理学療法室における外来患者満足度調査	理学療法室主任 理学療法士	池上 司
4	筋萎縮性側索硬化症患者に対する コミュニケーション支援	作業療法室 作業療法士	小谷 佳子
5	嚥下造影検査と嚥下内視鏡検査同時記録による パーキンソン病3症例の嚥下機能評価	言語聴覚療法室室長 言語聴覚士	桑原 生子
6	アンケート調査から見る通所の役割	通所リハビリテーション室長 理学療法士	日向 玲子
7	当院の内視鏡的胃瘻造設の現状	内科部長	川村 一子

第2部 座長 川村 一子 内科部長

	演 題	部署 ・職種	発表者
8	利用者の力を活かす訪問看護の技術	訪問看護ステーション 看護師	近森 真由美
9	精神科デイケアにおける就労支援について	精神科デイケア室 作業療法士	今城 恵理
10	禁煙外来の現状報告	看護部 外来看護主任	竹内 真由美
(1)	神経難病病棟に勤める看護師のストレス	看護部 2病棟看護師	藤田 明美
12	2病棟での肺炎発症の現状と今後の課題	看護部 2病棟看護師	豊田 豊子
(13)	排泄介助の取り組みについて	看護部 3病棟看護主任	森木 博子
14)	陰性感情を抱いた看護者へのサポートを考える	看護部 5病棟看護師	大崎 浩徳

平成25年度 院内看護部研修会

	開催日	内 容	講師・発表者	参加者
1	6/27 7/3 (木・水)	電子カルテ化について	事務部 システム管理 中川 博文	50名 アンケート 提出者43名
2	7/2 (火)	留置バルーンカテーテルの 使い方と管理について	クリエートメディック(株) 医療事業総括部 広島営業所 伊藤 健二氏	28名 アンケート 提出者26名
3	7/9 (火)	人工呼吸器の死亡事故事例から いろいろ考える	医療安全対策室 臨床工学技士 森本 直樹	28名 アンケート 提出者28名
4	8/6 (火)	塩分について	栄養部主任 管理栄養士 杉本 和子	33名 アンケート 提出者32名
5	9/5 (木)	リフトの活用について 超早期離床と起立保持 -ベッド療養のパラダイムを打破-	シーホネンス(株) 大阪支店 スペシャルプロダクト担当 係長 五代 晋一氏	22名 アンケート 提出者21名
6	9/25 (水)	精神科、神経難病患者との対話で思うこと	臨床心理士 安岡 望	30名 アンケート 提出者29名
7	10/22 (火)	訪問看護業務で思う事	訪問看護ステーション 管理者 長谷部 糸美	36名 アンケート 提出者35名
8	10/28 (月)	呼吸ケア・呼吸管理における対応 ~こんなときどうする ? ~	高知赤十字病院 急性・重症患者看護専門看護師 井上 和代氏	27名 アンケート 提出者26名
9	11/6 (水)	トリアージ	高知赤十字病院 救急看護認定看護師 寺尾 浩氏	36名 アンケート 提出者35名
10	11/26 (火)	高齢者施設への入所について	医療相談室 ソーシャルワーカー 岡添 総一・市原 梨沙	40名 アンケート 提出者35名
11	12/3 (火)	ピロリ菌について	内科部長 川村 一子	25名 アンケート 提出者25名
12	12/26 (木)	腰痛にならない工夫、腰痛体操	理学療法士 土居 史明	33名 アンケート 提出者30名
13	1/8 (水)	集中ケア フィジカルアセスメント	高知赤十字病院 集中ケア認定看護師 小野川 愛氏	24名 アンケート 提出者21名
14	1/21 (火)	「SOAP」について	5 病棟看護主任 中島 孝志	23名 アンケート 提出者22名
15	2/5 (水)	緩和ケア 臨死期ケア	高知赤十字病院 緩和ケア認定看護師 永野 江里子氏	31名 アンケート 提出者31名
16	2/10 (月)	看護管理者研修 「看護師長・主任に求められる リーダーシップ」	高知県立あき総合病院 看護部長 平瀬 節子氏	29名 アンケート 提出者29名

第3回 看護部チーム発表会 ~看護部チーム会活動の振り返り~

《 平成26年3月19日 (水) 13:00 ~ 13:30 》 本館5階 多目的ホール

看護部チーム名	発 表 者	チーム員
① 褥瘡対策チーム	西野 光世	豊田 豊子 岡林 和子 横山 竜弥 川村 美和 高瀬 司 石谷 豪 佐竹 葉子 門田 正通 牧 康江 宮崎 牧 近森真由美
② 医療安全チーム	宮地 沙織	福井 さわ 安岡 佑也 清遠 桂子 中本 久代 川村 美和 國本 美香 新階 友美 前田 聡 吉本 吉野 宮崎 牧 近森真由美
③ 感染対策チーム	藤田明美	石川 裕子 宗石 美砂 田井 計行 山崎 美樹 大崎 浩徳 田村 和子 西野 光世 田中左和子 近森真由美
④ 摂食・嚥下チーム	玉木香恵子	渡渦 和加 刈谷明日香 浜場 まり 山本 裕佳 國本 美香 小川 有紀 下池美佐子 岡村二三代 竹内真由美 猪野 弥生 近森真由美
⑤ 洗浄・医療機器チーム	廣瀬 三江	田中真沙代 中西 智秋 岡崎 弥生 中平 敏子 北村 篤子 山本 秀子 森澤 由紀 島崎こず絵 吉本 吉野 田中左和子 近森真由美
⑥ 記録チーム	中島 孝志	山脇 直美 山口 由紀 浜場 まり 山本 裕佳 山崎 幸美 大崎 浩徳 石谷 豪 竹内真由美 猪野 弥生 近森真由美
⑦ 教育チーム	森木 博子	武内 尚子 浜場 まり 西川 慎一 中島 孝志 新階 友美 小川 有紀 竹内真由美 猪野 弥生 近森真由美

業績

平成 25 年度 業績

◎学会発表

- 1) 吉村公比古: MSとCIDPの合併症例 第72回高知神経内科研究会 社会医療法人近森会 近森病院 高知市 6月6日 2013
- 2) 吉村公比古:南国病院で行った気管切開9症例の検討 第73回高知神経内科研究会 社会医療法人近森会 近森病院 高知市 9月5日 2013
- 3) 桑原生子、宮地悦美、川村一子、中澤宏之: 嚥下造影検査と嚥下内視鏡検査同時施 行による神経難病患者の嚥下機能評価 第19回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会 学術大会 川崎医療福祉大学 倉敷市 9月22日 2013
- 4)山口由紀、藤田明美、井土芳恵、長谷部糸美、武内尚子、山脇直美、井河里佳、中澤宏之:神経難病医療従事者研修事業に取り組んで-7年間の振り返り-日本難病医療ネットワーク学会第1回学術集会 大阪市中央公会堂 大阪市 11月8日 2013
- 5) 桑原生子、宮地悦美、山﨑一成、川村一子、中澤宏之: 嚥下造影検査及び嚥下内視 鏡検査同時施行による嚥下機能評価~続報~ 第9回四国摂食・嚥下研究会 国立病院機構徳島病院 吉野川市 11月29日 2013
- 6)新階友美、大崎浩徳、石谷豪、中島孝志、斉藤洋:陰性感情を抱いた看護者へのサポートを考える~看護師に対して著しい暴言、粗暴行為のあった事例を通して~第37回中国・四国精神保健学会サンポートホール高松・かがわ国際会議場 高松市 12月6日 2013

- 7) 小谷佳子、竹村亜紀、桑原生子、和田美和子、市村瑞也、刈谷明日香、浜場まり、 國本美香、玉木香恵子、大黒千明、宮地悦美、川村一子、吉村公比古、中澤宏之: パーキンソン病患者に対する「食」の障害へのアプローチ〜当院での取り組み〜 第10回高知パーキンソン病リハビリテーション研究会 高知市 2月21日 2014
- 8) 前田旅人:小脳型進行性核上性麻痺の症例 高知県理学療法士協会 新人発表 土佐リハビリテーションカレッジ 高知市 3月16日 2014

◎講演(専門)

- 1)中澤宏之:パーキンソン病在宅患者を支援する上で必要な知識について パーキンソン病の患者理解のための研修会 香美市 6月12日 2013
- 2) 吉村公比古:パーキンソン病関連疾患の症状と治療、リハビリと日常生活上の工夫について

難病学習会

高知市総合あんしんセンター 高知市 10月17日 2013

- 3) 中澤宏之: 認知症を正しく理解するための基礎知識 平成25年度中央東圏域栄養士会研修 香美市 1月29日 2014
- 4) 中澤宏之: 災害時医療について~大災害に向けて我々はどう考え何を準備するか~ 第5回高知県東部地区勉強会 安芸市 3月8日 2014

◎講演 (一般)

- 1)中澤宏之: 当院におけるリバスチグミンの使用経験 ノバルティスファーマ株式会社社内勉強会 高知市 11月14日 2013
- 2) 中澤宏之:認知症の理解を深めるための基礎知識 本山町健康講座・認知症サポーター養成講座 本山町 3月12日 2014

◎その他(相談)

1)中澤宏之

第 44 回難病医療・福祉相談会 in 佐川 佐川町保健福祉センターかわせみ 高岡郡佐川町 11 月 17 日 2013

2) 吉村公比古: 多発性硬化症に対する最近の進歩 第 45 回難病医療・福祉相談会 高知市総合あんしんセンター 高知市 3月2日 2014

編集後記

平成25年度も、医師不足が続いた状況でしたが、前回の編集後記で予想した外来部門の患者数の増加は、期待はずれに終わり、減少傾向が続いております。私事ですが、私の患者さんの中には、私があえて薬を漸減し、通院終了に持ち込めた患者さんもいらっしゃいますので、全てが医師不足によるものとは言い切れません。神経内科の先生方も他院への紹介などもあって、同様の事とお察し致します。また、新患数は、平成19年度よりも高い数値で維持されております。これは神経内科と精神科の新患数の内訳をご覧頂くと、おわかりいただけると思いますが、新患の減少傾向を神経内科の先生方が、若干食い止めて頂いていることがわかります。最近、精神科の新患も増加している印象がありますので、平成26年度は少々期待できるように思っております。

これまで同様、学術研修会や看護部研修会及び院内発表会と院内の教育体制も崩さず、継続して行けているところが、非常に素晴らしいと思います。教育体制の維持は、一部の職員が頑張っても実りのあるものはできないと思います。職員一人一人が協調性を持って、あるいは、個々人のモチベーションを高く維持していなければ、持続できないものと考えておりますので、みなさん一人一人が賞賛に値すると私は感じております。

他院に誇れる褥瘡管理も毎年ほぼ同様の状況で推移しておりまして、不動の実績となっておりますし、MRSA感染の比率も見た目は、若干5病棟が増えているように見えますが、統計学的には誤差範囲と思われます。医療安全上いつも問題になる転倒・転落は、重症の認知症患者さんを受け入れる入院治療が活溌になると、致し方ない面があると考えられます。この点につきましては、将来のハード面の改善などを期待したいと思います。

前回から掲載しております栄養部の活動状況や実習生の受け入れ状況など、本年報においても、活溌な状況が覗えます。

さらに25年度から通所リハビリが総数をかなり伸ばして来られました。非常に工夫と努力がなされていることがおわかり頂けると思います。訪問看護も同様に総数を伸ばされまして、今後も大きく期待するところです。デイケアは利用総数では推し測れない努力がございます。当院のみではなく、他院のデイケアも同様の傾向と考えられますが、再発防止や自立のための援助としての役割にシフトしつつあります。デイケアのスタッフが服薬管理まで行わないといけないケースが増えていますので、総数は変化なくとも、

労力は増えているものと考えられます。

今年は去年よりも若干遅くなりましたが、この時期に編集後記を書き上げることができたことは、非常に喜ばしいことです。事務部の竹嶋聖佳さんや各部署の担当者の皆様、特に統計処理等で尽力された小松香さんを初めとする事務部の皆様方のご努力の賜であり、深く感謝申し上げます。

平成26年10月25日 年報編集委員長 玉元 徹

医療法人つくし会 年報

平成25年度

発 行 平成26年12月

編集発行 医療法人 つくし会

〒783 − 0004

高知県南国市大埇甲1479番地3

電話088-864-3137 (代) FAX088-863-3070

印刷 めぐみ写研

〒783 − 0004

高知県南国市大埇甲1956-2

電話088-864-2604